3 章

応用編

デジタルカメラの画像や写真を使った、カレンダーやはがき、シールやアルバムなどの作り方について説明します。また、本機をさらに便利に使う方法についても説明します。

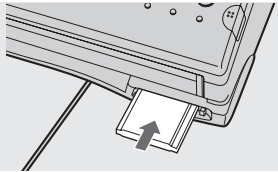
デジタルカメラプリント機能を使う前に

デジタルカメラで撮った画像をPCカードを使って親機に接続してプリントすることができます。
この機能は次の6つのことができます。

・レイアウトプリント（3-4〜3-6ページ）
・カレンダープリント（3-7〜3-8ページ）
・シールプリント（3-9〜3-10ページ）
・オートハガキレイアウト（3-11〜3-12ページ）
・アイロンプリント（3-13〜3-14ページ）
・一覧プリント（3-15〜3-16ページ）

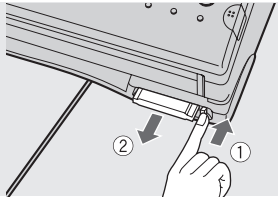
デジタルカメラは、DCF※1規格に準拠している必要があります。また、DPOF※2規格に準拠していれば、デジタルカメラ側で指定した画像を簡単にプリントできます。（扱える画像はJPEG※3形式のみです。）デジタルカメラで撮影した画像を記録メディアから読み込むためにはPCカードアダプターが必要です。
これらの機能を使うときは、カラーインクカートリッジをご使用ください。（5-24〜5-25ページ）

PCカードを接続する

1 PCカード挿入口にPCカードを差し込む

●PCカードをしっかり差し込んでください。

PCカードを取り出す

待機画面を表示しているときに取り出してください。

1 PCカード解除ボタンを押したあと、PCカードを引き出す

●PCカード解除ボタンを押すと、PCカードが少し出てきます。

お知らせ

● ご利用可能な記録メディアは、スマートメディア、コンパクトフラッシュ、メモリースティック、マルチメディアカード、ＳＤメモリーカードです。
● デジタルカメラで撮影した画像を記録メディアから読み込むには、各メーカー推奨のPCカードアダプターをご使用ください。（名称は各メーカーによって異なります。）また、本機では、（株）アイ・オー・データ機器製のPCカードアダプター※4で動作確認をしています。なお、マルチメディアカード用アダプターは使用できません。マルチメディアカードをお使いの場合は（株）アイ・オー・データ機器製のPCSD-ADPをご使用ください。
● デジタルカメラやPCカードアダプターの取り扱い等につきましては、それぞれの製品に付属されている取扱説明書をご覧ください。
● 横幅が2400画素を超える画像や横幅が160画素より小さい画像、縦幅が120画素より小さい画像はプリントやファクス送信できません。
● パソコンなどで編集した画像はプリントや送信できないことがあります。
● 記載の社名や製品名は、該当各社の商標または登録商標です。
● デジタルカメラ画像送信で次の縦画素数を超える部分は送信されません。
　・横幅が800画素以下の場合は縦幅2000画素を超える部分
　・横幅が800画素を超えて2400画素以下までの画像は縦幅4000画素を超える部分
● 本機では、デジタルカメラ画像の横幅を基準にプリントします。デジタルカメラの画像の縦横比が3：4でない場合は画像の下側の一部が印刷できないことがあります。
● デジタルカメラ固有の機能は正しく動作しないことがあります。
● デジタルカメラプリント機能や画像送信機能（3-21〜3-23ページ）を操作しているときは、絶対にPCカードを抜かないでください。カードおよびカード内の画像データが破損する場合があります。

※1　DCFは『 Design rule for Camera File system』の略称。デジタルカメラで撮影した画像ファイル形式を標準化した（社）電子情報技術産業協会（JEITA)の規格です。
※2　DPOFは『 Digital Print Order Format』の略称。デジタルカメラで撮影した画像の中からプリントしたい画像や枚数などを指定して、より簡単にプリントするための規格です。
※3　JPEGは『 Joint Photographic coding Experts Group』の略称。国際電気通信連合（ITU-TS）と国際標準化機構（ISO）で定めた、カラー静止画像の圧縮や展開を定めた規格です。
※4　PCCF-ADP（コンパクトフラッシュ用）、PCFDCIV-ADP（スマートメディア用）
PCSD-ADP（SDメモリカード、マルチメディアカード用）、PCMS-ADP（メモリスティック用）

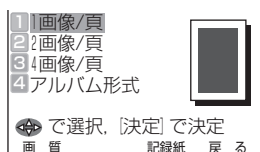
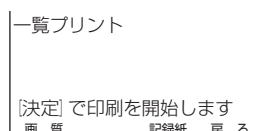
■ **各機能の画像の一覧表示画面について**

●横幅が2400画素を超える画像は、⊗マークで表示され、選択することができません。
⊗マークの画像は、印刷前にレイアウトを確認する画面では、灰色の枠で表示され、実際に印刷されるイメージとは異なる場合があります。

●DCF準拠画像ではない画像は、ディレクトリ番号・ファイル番号の前に「*」が表示されます。

■ **デジタルカメラでDPOF 機能を設定した画像を保存しているPCカードをセットしたときは**

本機はDPOF規格に対応しています。
PCカードをセットすると親機のディスプレイに「DPOFデータがあります」と表示されます。
このあと次のように表示されますのでプリントするときは操作を行ってください。（プリントしないときは停止ボタンを押します。また、デジタルカメラで「スタンダード（標準）プリント」と「インデックスプリント」の両方を設定しているときは「スタンダード（標準）プリント」が終わると、「インデックスプリント」を開始します。）

スタンダード（標準）プリントを設定したとき

① ▲ または ▼ で記録紙１枚にプリントする画像の枚数を選び、FAXスタート/決定ボタンを押す

② FAXスタート/決定ボタンを押す
（プリントを開始します。）

インデックスプリントを設定したとき

一覧プリント

[決定] で印刷を開始します

画 質　　記録紙　戻 る

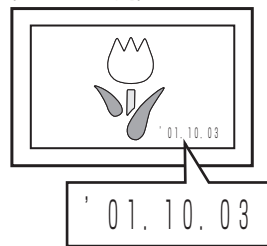
① FAXスタート/決定ボタンを押す
（プリントを開始します。）

DPOF機能の設定はデジタルカメラで行います。詳しくはデジタルカメラの取扱説明書をご覧ください。

■ **撮影日時の印刷について**

● デジタルカメラプリント機能では、画像に自動的に撮影日を追加して印刷します。（追加せずに印刷することはできません。）

● あらかじめ撮影日時の入っている画像の場合、画像上の撮影日と本機で追加した撮影日の両方がプリントされます。

（プリント例）

お知らせ

● デジタルカメラ側で指定した枚数情報などは無視されます。本機ではDPOF指定でスタンダードまたはインデックスと指定された画像を順に１枚ずつ印刷します。

● インデックスプリントでDCF準拠画像ではDCFディレクトリ番号・ファイル番号と撮影日付が印刷されます。DCF準拠でない画像はディレクトリ番号・ファイル番号が「*」に続いて印刷され撮影日付は印刷されません。またDCF準拠画像でも横幅2400画素を超える画像はDCFディレクトリ番号・ファイル番号の前に「*」が印刷され細字になります。（撮影日時は印刷されます。）

● スタンダードプリントで４画像／頁を選択した場合やインデックスプリント・アルバム形式（レイアウトプリント）はA4用紙のみ印刷可能です。

デジタルカメラで撮った画像を指定してプリントする（レイアウトプリント）

PCカードのメモリーに入っている画像を指定して１枚の記録紙（A4サイズ、はがき）に複数枚（１～４枚）プリントすることができます。
また、左側に３枚ずつ並べて、A4サイズの記録紙にアルバム形式でプリントすることもできます。右側に文字を書き込むことができます。
この機能を使うときは、カラーインクカートリッジをご使用ください。（5-24～5-25ページ）

デジタルカメラで撮った画像を選んでプリントする

あらかじめ記録紙をセットしておきます。（アルバム形式にするときはA4サイズをセットしてください。）

途中でやめるとき
停止ボタンを押す

１つ前に戻るとき
戻るボタンを押す

1 PCカードをセットする（3-2ページ）

2 ホームプリント を押す

3 ▲ または ▼ で「デジタルカメラプリント」を選び、決定 を押す

4 ▲ または ▼ で「レイアウトプリント」を選び、決定 を押す

1 個別選択
2 範囲指定
3 全部

5 プリントする画像を選ぶ

画像を1つずつ選んでプリントするとき

① ▲ または ▼ で「個別選択」を選び、決定 を押す

② ▲ ▼ 再ダイヤル ◄ ► 電話帳 で、プリントしたい画像を選ぶ

●「カード内容確認中」と表示されたあと、左の画面が表示されます。
●次の画面が見たいときは、次ページボタンを押します。
●拡大したいときは、▲ ▼ ◄ ► で見たい画像を選び、拡大表示ボタンを押します。

次ページへ→

→つづき

③ 指定/解除 を押す

●選ばれた画像の左上に、▶ が表示されます。１画像だけプリントするときは、手順６に進みます。複数の画像をプリントするときは、手順②〜③を繰り返します。

●画像の指定を取り消したいときは、▶ のついた画像を選び、指定/解除ボタンを押して、▶ を消します。

連続した画像をプリントするとき（範囲指定）

① ▲ または ▼ で「範囲指定」を選び、FAXスタート 決定 を押す

② ▲ ▼ 再ダイヤル ◀ ▶ 電話帳 で、プリントしたい最初の画像を選び、FAXスタート 決定 を押す

100-0001 100-0002 100-0003
100-0004 100-0005 100-0006
で画像選択，[決定] で最
拡大表示 指定取消 次ページ 戻 る

③

で、プリントしたい最後の画像を選ぶ

●次の画面が見たいときは次ページボタンを押します。

●拡大したいときは、▲ ▼ ◀ ▶ で見たい画像を選び、拡大表示ボタンを押します。

●選ばれた画像の左上に、▶ が表示されます。

●範囲を変えたいときは、指定取消ボタンを押して、▶ を消してから、選び直します。

PCカードに入っているすべての画像をプリントするとき

▲ または ▼ で「全部」を選び、手順６に進む

6 FAXスタート 決定 を押す

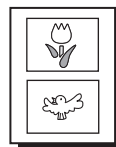
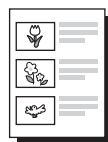
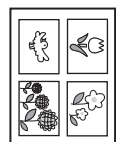
次ページへ→

→つづき

7 または で、
記録紙1枚にプリントする画像の枚数を選び、
を押す

●できあがりイメージをディスプレイで確認できます。

1画像/枚のとき

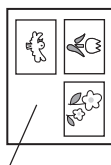
2画像/枚のとき

アルバム形式のとき

4画像/枚のとき

8 **内容を確認して、を押す**

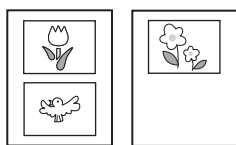
●プリントを開始します。

■1画像だけプリントするときは

手順5「画像を1つずつ選んでプリントするとき」の手順②で1つだけ画像を選び、手順6に進んでください。

■選んだ画像の数と1枚にプリントする画像の関係

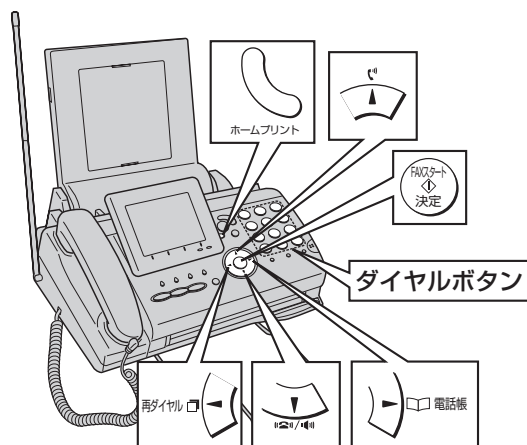
3画像を指定して4画像/枚でプリントすると…

余白ができます。

3画像を指定して2画像/枚でプリントすると…

分かれて印刷されます。

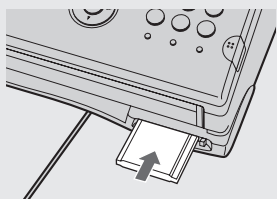
お知らせ

● プリントするサイズは、セットされている記録紙（A4または、はがき）サイズに合わせてプリントします。ただし、はがきには「4画像／枚」「アルバム形式」のプリントはできません。

デジタルカメラで撮った画像からカレンダーを作る（カレンダープリント）

A４サイズの記録紙やはがきに、PCカードのメモリーに入っている画像を使ってカレンダーをプリントすることができます。
この機能を使うときは、カラーインクカートリッジをご使用ください。（5-24～5-25ページ）

デジタルカメラで撮った画像からカレンダーを作る

あらかじめ記録紙をセットしておきます。

1 PCカードをセットする（3-2ページ）

2 [ホームプリント] を押す

3 [▲] または [▼] で「デジタルカメラプリント」を選び、[FAXスタート/決定] を押す

4 [▲] または [▼] で「カレンダープリント」を選び、[FAXスタート/決定] を押す

2001年 10月
[ダイヤル] で変更, [決定] で決定
画　質　　記録紙　戻　る

5 ダイヤルボタンで作りたいカレンダーの西暦年、月を入れる

例：２０[0][2]年[0][1]月

●「カード内容確認中」と表示されたあと、左の画面が表示されます。
●2048年12月まで入れることができます。
●ディスプレイに表示されている西暦年、月のままでよいときは、FAXスタート/決定ボタンを押して手順6に進みます。

途中でやめるとき
停止ボタンを押す

１つ前に戻るとき
戻るボタンを押す

次ページへ→

デジタルカメラで撮った画像からカレンダーを作る（カレンダープリント）

→つづき

6

でプリントしたい画像を選び、決定を押す

●次の画面が見たいときは次ページボタンを押します。

●拡大したいときは、▲▼◀▶で見たい画像を選び、拡大表示ボタンを押します。

7 ▲または▼で回転のしかたを選び、決定を押す

8 内容を確認して、決定を押す

●プリントを開始します。

（プリント例）

横長の画像を「回転なし」にして、「2002年１月」でプリントしたとき

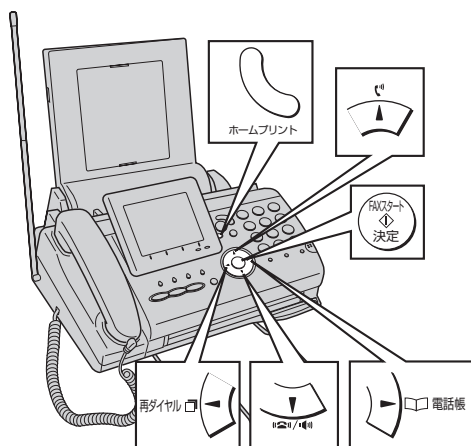
縦長の画像を「右90度回転」または「左90度回転」にして、「2002年2月」でプリントしたとき

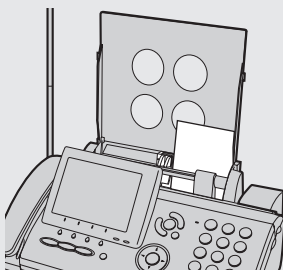
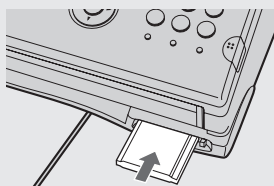
A4サイズの記録紙にプリントしたときは、日付を記載しているところに枠が入ります。（はがきにプリントしたとき、枠は入りません。）

お知らせ

● 祝日は赤色の文字でプリントされません。

デジタルカメラで撮った画像からプリントシールを作る（シールプリント）

デジタルカメラで撮った画像全体を縮小してシール紙にコピーすることができます。
１枚で16コマのシールを作ることができます。
この機能を使うときは、カラーインクカートリッジをご使用ください。（5-24〜5-25ページ）

デジタルカメラで撮った画像からプリントシールを作る

1 記録紙ガイドを合わせて **シール紙のプリントする面を表向きにセットする**

2 **PCカードをセットする（3-2ページ）**

3 [ホームプリント] **を押す**

4 [▲] **または** [▼] **で「デジタルカメラプリント」を選び、** [FAXスタート/決定] **を押す**

5 [▲] **または** [▼] **で「シールプリント」を選び、** [FAXスタート/決定] **を押す**

途中でやめるとき

停止ボタンを押す

１つ前に戻るとき

戻るボタンを押す

●一度に１枚しかセットできません。
●記録紙の種類は自動的に設定されます。記録紙ボタンを押して選ぶ必要はありません。

●「カード内容確認中」と表示されたあと、左の画面が表示されます。

次ページへ→

→つづき

6 ▲ ▼ 再ダイヤル ◄ ► 電話帳 **でプリントしたい画像を選び、FAXスタート/決定を押す**

シールプリント
番号:100-0003
日付:'01.10.03

[決定] で印刷を開始します
画 質　記録紙　戻 る

●次の画面が見たいときは次ページボタンを押します。
●拡大したいときは、▲ ▼ ◄ ►で見たい画像を選び、拡大表示ボタンを押します。

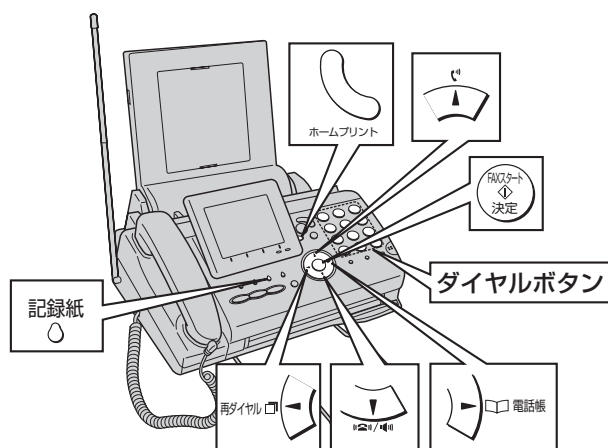
7 内容を確認して、FAXスタート/決定を押す

●プリントを開始します。

お知らせ

● A4サイズの記録紙をセットしているときはシール紙の大きさ（はがきサイズ）でプリントします。
● シールのサイズより大きくプリントします。（シールをはがすと、回りが切り取られます。）
● シール紙のセット位置の誤差などによって、プリント位置がシール枠からずれることがあります。

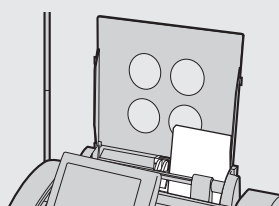
デジタルカメラで撮った画像入りはがきを作る（オートハガキレイアウト）

はがきの上半分にデジタルカメラで撮った画像をプリントすることができます。このとき自動的に縮小プリントします。
この機能を使うときは、カラーインクカートリッジをご使用ください。（5-24〜5-25ページ）

デジタルカメラで撮った画像入りはがきを作る

1 記録紙ガイドを合わせて
はがきのプリントする面を表向きにセットする

途中でやめるとき
停止ボタンを押す

１つ前に戻るとき
戻るボタンを押す

●はがき（縦方向）は20枚までセットできます。

2 記録紙 **を押して記録紙の種類を選ぶ**

3 **PCカードをセットする（3-2ページ）**

4 ホームプリント **を押す**

5 ▲ **または** ▼ **で「デジタルカメラプリント」を選び、** FAXスタート 決定 **を押す**

6 ▲ **または** ▼ **で「オートハガキレイアウト」を選び、** FAXスタート 決定 **を押す**

●「カード内容確認中」と表示されたあと、左の画面が表示されます。

次ページへ→

→つづき

7 ▲ ▼ ◀ ▶ **でプリントしたい画像を選び、FAXスタート/決定 を押す**

印刷部数を入力ください
印刷部数=01部
選択画像=100-0003
[ダイヤル]で変更，[決定]で決定
画 質　記録紙　戻 る

●次の画面が見たいときは次ページボタンを押します。
●拡大したいときは、▲ ▼ ◀ ▶ で見たい画像を選び、拡大表示ボタンを押します。

8 ダイヤルボタンで枚数を2ケタ（01～99）で入力する

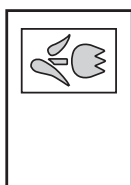
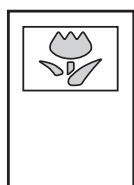
●1枚だけプリントするときは枚数を入力しないで、手順9に進みます。

9 FAXスタート/決定 を押す

オートハガキレイアウト
番号:100-0003
日付:'01.10.03
[決定]で印刷を開始します
画 質　記録紙　戻 る

10 もう一度 **FAXスタート/決定 を押す**

●プリントを開始します。

（プリント例）

横長の画像をプリントしたとき

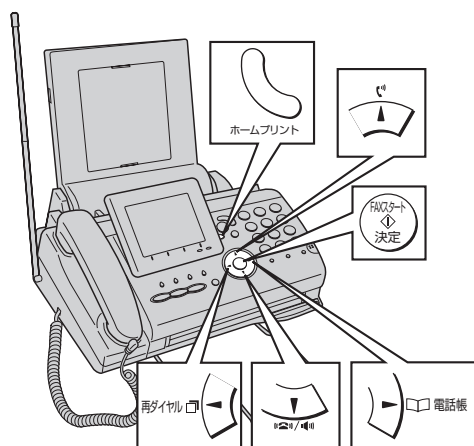
縦長の画像をプリントしたとき

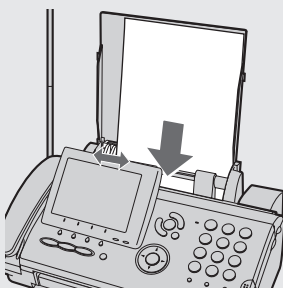
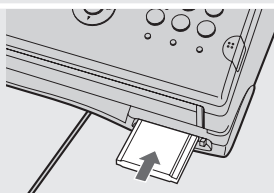
●自動的に縮小してレイアウトします。

お知らせ

● A4サイズの記録紙をセットしているときは、はがきサイズでプリントします。

デジタルカメラで撮った画像の左右を反転してコピーする（アイロンプリント）

Ｔシャツ転写用プリント紙の上半分に画像を拡大してプリントすることができます。このとき左右を反転してコピーするので、Ｔシャツなどに転写すると正しい向きになります。
Ｔシャツ転写用プリント紙は当社推奨品（6-2ページ）をお買い求めください。
また、アイロンについては、Ｔシャツ転写用プリント紙の取扱説明書をご覧ください。
この機能を使うときは、カラーインクカートリッジをご使用ください。（5-24〜5-25ページ）

デジタルカメラで撮った画像の左右を反転してコピーする

1 記録紙ガイドを合わせて
Ｔシャツ転写用プリント紙のプリントする面を表向きにセットする

2 **PCカードをセットする（3-2ページ）**

3 ホームプリント **を押す**

4 ▲ **または** ▼ **で「デジタルカメラプリント」を選び、** FAXスタート 決定 **を押す**

5 ▲ **または** ▼ **で「アイロンプリント」を選び、** FAXスタート 決定 **を押す**

途中でやめるとき
停止ボタンを押す

１つ前に戻るとき
戻るボタンを押す

- 一度に１枚しかセットできません。
- 記録紙の種類は自動的に設定されます。記録紙ボタンを押して選ぶ必要はありません。
- プリントする面は、Ｔシャツ転写用プリント紙の取扱説明書で必ず確認してください。

- 「カード内容確認中」と表示されたあと、左の画面が表示されます。

次ページへ→

デジタルカメラで撮った画像の左右を反転してコピーする（アイロンプリント）

→つづき

6

でプリントしたい画像を選び、（FAXスタート 決定）を押す

アイロンプリント
番号:100-0003
日付:' 01.10.03
[決定] で印刷を開始します
画 質　記録紙　戻 る

●次の画面が見たいときは次ページボタンを押します。
●拡大したいときは、（▲）（▼）（◀）（▶）で見たい画像を選び、拡大表示ボタンを押します。

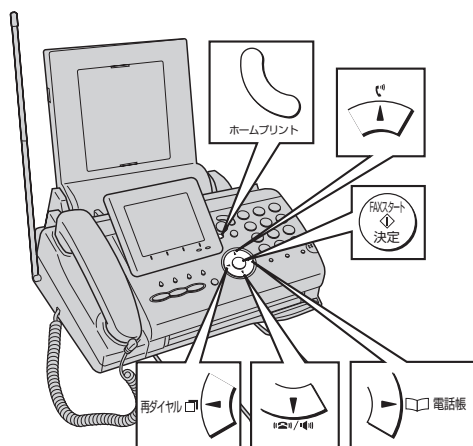
7 もう一度
（FAXスタート 決定）**を押す**

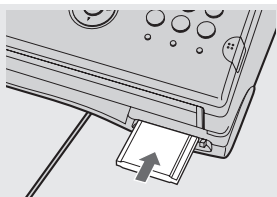
●プリントを開始します。

お知らせ

● 本機はインクジェットプリント方式でプリントします。そのためカラーリボン転写用のシートであるシャープ製品のワープロ用アイロンシート（WP114）は使えません。
● はがきサイズの記録紙をセットしているときは、プリントできません。記録紙エラーになります。

デジタルカメラで撮った画像の一覧をプリントする（一覧プリント）

PCカードのメモリーに入っている画像の一覧をA4サイズの記録紙にプリントできます。
この機能を使うときは、カラーインクカートリッジをご使用ください。（5-24〜5-25ページ）

デジタルカメラで撮った画像の一覧をプリントする

あらかじめ記録紙をセットしておきます

途中でやめるとき
停止ボタンを押す

１つ前に戻るとき
戻るボタンを押す

1 **PCカードをセットする（3-2ページ）**

2 （ホームプリント）**を押す**

3 （▲）**または**（▼）**で「デジタルカメラプリント」を選び、**（FAXスタート/決定）**を押す**

4 （▲）**または**（▼）**で「一覧プリント」を選び、**（FAXスタート/決定）**を押す**

100-0001	100-0002	100-0003
100-0004	100-0005	100-0006

で画像選択，［決定］で先頭
拡大表示　次ページ　戻る

●「カード内容確認中」と表示されたあと、左の画面が表示されます。

5 （▲）（▼）（再ダイヤル ◄）（► 電話帳）**で一覧の先頭にしたい画像を選び、**（FAXスタート/決定）**を押す**

●選んだ画像を先頭にして、その画像以降の番号の画像を一覧プリントします。
●次の画面が見たいときは次ページボタンを押します。
●拡大したいときは、（▲）（▼）（◄）（►）で見たい画像を選び、拡大表示ボタンを押します。
●はじめは最初の画像を選んでいるので、すべてをプリントするときはFAXスタート/決定ボタンを押して手順６に進みます。

次ページへ→

→つづき

6 もう一度
（FAXスタート 決定）**を押す**

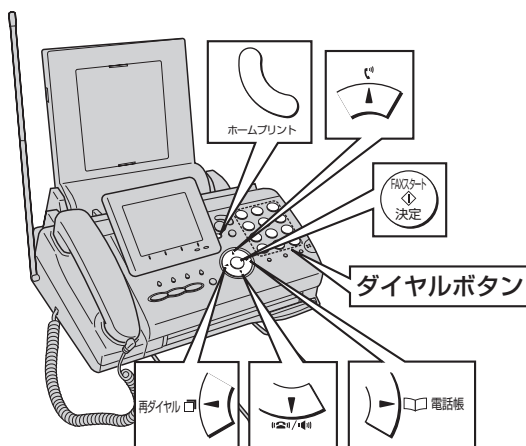
●プリントを開始します。

（プリント例）

お知らせ

- 横幅が2400画素を超える画像はDCFディレクトリ番号・ファイル番号の前に「*」が印刷され細字になります。
- 細字のものについては、一覧プリント以外のデジタルカメラプリント機能、およびデジタルカメラ送信ができないことがあります。
- はがきをセットしているときは記録紙エラーになります。A4サイズの記録紙をセットしてください。

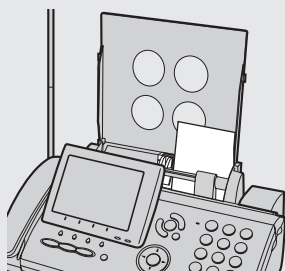
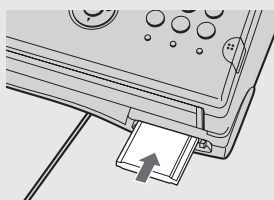
デジタルカメラで撮った画像に飾り枠をつけてプリントする（フレーム合成プリント）

PCカードのメモリーに入っている画像に飾り枠（フレーム）をつけてプリントすることができます。（24種類）
A4サイズの記録紙やはがきに1枚プリントしたり、カレンダーにしたり、シール紙にプリントすることができます。この機能を使うときは、カラーインクカートリッジをご使用ください。（5-24～5-25ページ）

デジタルカメラで撮った画像に飾り枠をつけてプリントする

あらかじめ記録紙をセットしておきます。

シールプリントの場合は、記録紙ガイドを合わせて**シール紙のプリントする面を表向きにセットします。**

- 一度に１枚しかセットできません。
- 記録紙の種類は自動的に設定されます。記録紙ボタンを押して選ぶ必要はありません。

1 PCカードをセットする（3-2ページ）

途中でやめるとき
停止ボタンを押す

１つ前に戻るとき
戻るボタンを押す

2 （ホームプリント）を押す

3 ▲または▼で「フレーム合成プリント」を選び、（FAXスタート 決定）を押す

- 「カード内容確認中」と表示されたあと、左の画面が表示されます。

4 ▲▼◀▶で、プリントしたい画像を選び、（FAXスタート 決定）を押す

- 次の画面が見たいときは、次ページボタンを押します。
- 拡大したいときは、▲▼◀▶で見たい画像を選び、拡大表示ボタンを押します。

次ページへ→

→つづき

5 ▲ ▼ ◄ ► で、フレームを選び、FAXスタート/決定 を押す

1 1枚プリント
2 カレンダープリント
3 シールプリント
で選択，[決定] で決定
画　質　　記録紙　戻　る

- 次の画面が見たいときは、次ページボタンを押します。
- 拡大したいときは、▲ ▼ ◄ ► で見たい画像を選び、拡大表示ボタンを押します。

6 プリント方法を選ぶ

画像を１枚プリントするとき

▲ または ▼ で「１枚プリント」を選び、FAXスタート/決定 を押す

カレンダーを作りたいとき

① ▲ または ▼ で「カレンダープリント」を選び、FAXスタート/決定 を押す

② ダイヤルボタンで作りたいカレンダーの西暦年、月を入れる

例：２０[0][2]年[0][1]月

- 2048年12月まで入れることができます。
- ディスプレイに表示されている西暦年、月のままでよいときは、FAXスタート/決定ボタンを押して手順7に進みます。

シールを作りたいとき

▲ または ▼ で「シールプリント」を選び、FAXスタート/決定 を押す

7 内容を確認して、FAXスタート/決定 を押す

- プリントを開始します。

（プリント例）

1枚プリントのとき

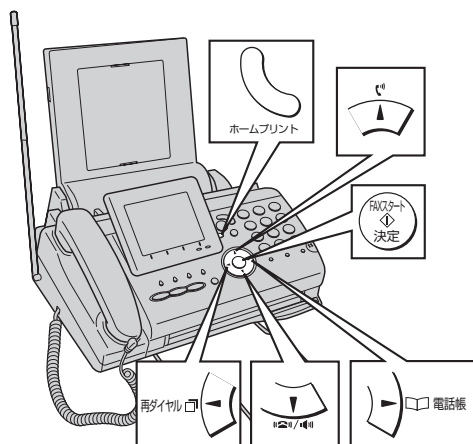
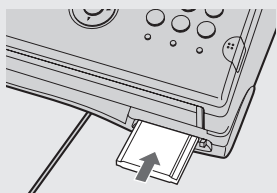
カレンダープリントのとき

シールプリントのとき

お知らせ

- カレンダープリントでは、祝日は赤色の文字でプリントされません。

デジタルカメラで撮った画像をメモリーに保存する（デジタルカメラ画像保存）

PCカードのメモリーに入っている画像をファクスのメモリーに保存できます。（5つまで）
保存した画像は、待機画面・電話着信画面・メール着信画面に表示することができます。（3-32ページ）

デジタルカメラで撮った画像をメモリーに保存する

途中でやめるとき
停止ボタンを押す

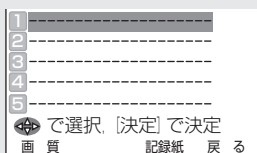
1つ前に戻るとき
戻るボタンを押す

1 PCカードをセットする（3-2ページ）

2 ホームプリント **を押す**

3 ▲ または ▼ で「デジタルカメラ画像保存」を選び、決定 を押す

●「カード内容確認中」と表示されたあと、左の画面が表示されます。

4 ▲ ▼ 再ダイヤル ◀ ▶ 電話帳 **で、保存したい画像を選び、** 決定 **を押す**

●次の画面が見たいときは、次ページボタンを押します。
●拡大したいときは、▲▼◀▶で見たい画像を選び、拡大表示ボタンを押します。

5 ▲ または ▼ で **保存したい番号を選び、** 決定 **を押す**

●画像が保存されます。
●指定した番号にすでに画像が保存されているときは、上書きするか内容を確認するかを選ぶ画面が表示されます。「上書きする」を選ぶとその番号に上書き保存されます。
●保存した画像を待機画面・電話着信画面・メール着信画面に表示する操作は「親機の画面のデザインを変える」（3-32ページ）をご覧ください。

デジタルカメラで撮った画像をメモリーに保存する（デジタルカメラ画像保存）

■**保存した画像を確認したいときは**

次の2つの方法があります

- **「デジタルカメラ画像保存」で確認する**
  ①「デジタルカメラで撮った画像をメモリーに保存する」（3-19ページ）の手順1～4の操作をする
  （どの画像を選んでもかまいません）
  ② ▲ または ▼ で確認したい画像のファイル番号を選び、FAXスタート/決定ボタンを押す
  ③ ▲ または ▼ で「内容を確認」を選び、FAXスタート/決定ボタンを押す
  ④ 確認後、停止ボタンを押す

- **画面設定で確認する**
  ①「親機の画面の設定を変える」（3-32ページ）の手順1～3の操作をする
  （待機画面設定・電話着信画面設定・メール着信画面設定のどれを選んでもかまいません）
  ② ▲ または ▼ で確認したい画像のファイル番号を選び、FAXスタート/決定ボタンを押す
  ③ ▲ または ▼ で「内容を確認」を選び、FAXスタート/決定ボタンを押す
  ④ 確認後、停止ボタンを押す

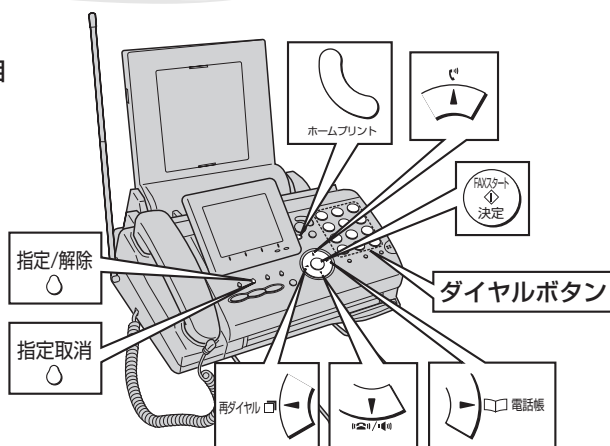
■**前に保存した画像に上書き保存したいときは**

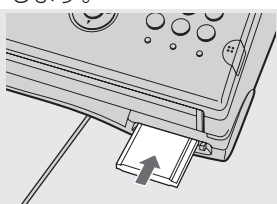
①「デジタルカメラで撮った画像をメモリーに保存する」の手順1～4の操作をする
② 手順5で、上書き保存したい番号（画像名が表示されている行）を選び、FAXスタート/決定ボタンを押す
③ 保存されている画像を確認したいときは、▲ または ▼ で「内容を確認」を選び、FAXスタート/決定ボタンを押す（確認後、戻るボタンで１つ前に戻る）
確認する必要のないときは、手順④へ進む
④ ▲ または ▼ で「上書きする」を選び、FAXスタート/決定ボタンを押す

お知らせ

- 保存した画像は、強制リセットをしない限り、消えません。新しく保存したいときは、上書き保存してください。
- 上書き保存のとき、「上書きする」を選んでから保存が終わるまでの間に、着信があったり、停電になったり、受話器を上げるなどの操作をしたときは、上書きされず、前の保存データも消えてしまうことがあります。

デジタルカメラで撮った画像をファクスで送る（デジタルカメラ画像送信）

PCカードのメモリーに入っている画像をそのまま相手の方にカラーファクス送信することができます。
相手側の記録紙の上部に、横向きでプリントされます。

デジタルカメラで撮った画像をファクスで送る

原稿をセットしていない状態で操作します。

途中でやめるとき
停止ボタンを押す

1つ前に戻るとき
戻るボタンを押す

1 PCカードをセットする（3-2ページ）

2 ホームプリント **を押す**

3 ▲ **または** ▼ **で「デジタルカメラ画像送信」を選び、** FAXスタート/決定 **を押す**

1個別選択
2範囲指定
3全部

4 送信する画像を選ぶ

画像を1つずつ選んで送信するとき

① ▲ **または** ▼ **で「個別選択」を選び、** FAXスタート/決定 **を押す**

●「カード内容確認中」と表示されたあと、左の画面が表示されます。
●次の画面が見たいときは、次ページボタンを押します。
●拡大したいときは、▲ ▼ ◄ ► で見たい画像を選び、拡大表示ボタンを押します。

② ▲ ▼ 再ダイヤル ◄ ► 電話帳 **で、送信したい画像を選ぶ**

次ページへ→

→つづき

③ 指定/解除 を押す

- 選ばれた画像の左上に、▶が表示されます。1画像だけプリントするときは、手順5に進みます。複数の画像をプリントするときは、手順②～③を繰り返します。
- 画像の指定を取り消したいときは、▶のついた画像を選び、指定/解除ボタンを押して、▶を消します。

連続した画像を送信するとき

① ▲または▼で「範囲指定」を選び、FAXスタート 決定 を押す

- 次の画面が見たいときは、次ページボタンを押します。

② ▲ ▼ 再ダイヤル ◀ ▶ 電話帳 で、送信したい最初の画像を選び、FAXスタート 決定 を押す

- 拡大したいときは、▲ ▼ ◀ ▶ で見たい画像を選び、拡大表示ボタンを押します。
- 選ばれた画像の左上に、▶が表示されます。
- 範囲を変えたいときは指定取消ボタンを押して、▶を消してから、選び直します。

③ で、送信したい最後の画像を選ぶ

PCカードに入っているすべての画像を送信するとき

▲または▼で「全部」を選び、手順5に進む

5 FAXスタート 決定 を押す

6 受話器を取る

- 受話器を置いたままダイヤルするときは、スピーカーホンボタンを押します。

次ページへ→

→つづき

7 「ツー」という音が聞こえたら
ダイヤルする

●まちがい電話や誤送信を防ぐために、「ツー」音を確かめたあと、正しくダイヤルしてください。

8 相手の方が出たらファクスを送ることを伝えて
を押す

●送信が始まります。
●「ピー」音が聞こえると自動的にファクス送信に切り替わります。
（おまかせ送信　2-56ページ）
●送信中、途中でやめるときは停止ボタンを押します。

9 受話器を戻す

●ファクス送信が終わると鳥の声が聞こえます。（終了音）

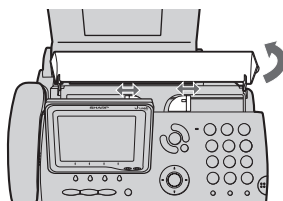
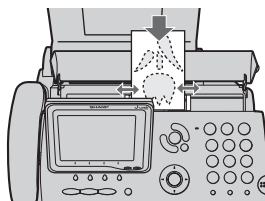
お知らせ

- 操作しているときは、絶対にPCカードを抜かないでください。カードおよびカード内の画像データが破損する場合があります。
- デジタルカメラで撮った画像をファクスで送ることができるのは、相手機がカラー受信できるファクシミリ（カラーFAX国際標準規格準拠）のときのみです。

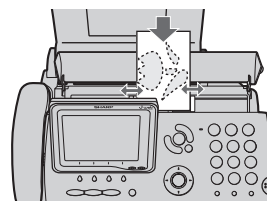
コピープリント機能を使う前に

コピープリント機能として次の6つのことができます。
・写真からカレンダーを作る（3-25〜3-26ページ）
・写真からプリントシールを作る（3-27〜3-28ページ）
・写真入りはがきを作る（3-29〜3-30ページ）
・左右を反転してコピーする（3-31ページ）
・複数枚コピー（2-44〜2-45ページ）
・拡大／縮小コピー（2-43〜2-44ページ）
コピープリント機能を使う前に写真のセットのしかたや大きさについて知っておいてください。左右を反転してコピーするときはA4サイズの原稿までコピーできます。複数枚コピー、拡大／縮小コピーでセットできる原稿については「コピーやファクスをする前に」（2-36ページ）をご覧ください。
これらの機能（複数枚コピー、拡大／縮小コピーを除く）を使うときは、カラーインクカートリッジをご使用ください。（5-24〜5-25ページ）

写真を原稿としてセットするとき

1 ホッパーカバーを開いて、原稿ガイドを写真の幅に合わせる

2 写真は裏向きに！プリントする面を下にしてセットする（一度に1枚）

縦長の写真をセットしたいとき

●縦長の写真のときは写真の上が最初に親機に入るようにセットしてください。

横長の写真をセットしたいとき

●横長の写真のときは写真の上が親機の左側に向くようにセットしてください。

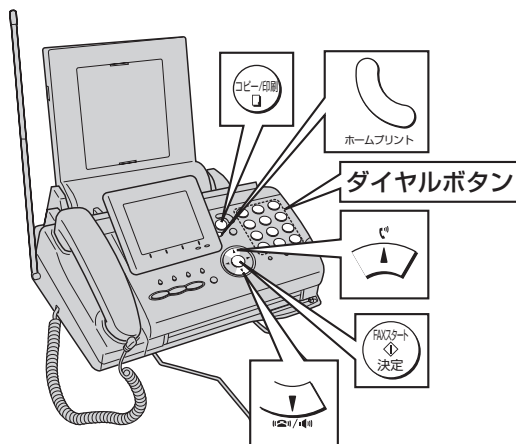
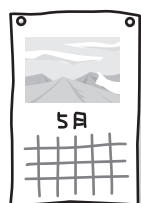
セットする写真の大きさについて

写真はLサイズのものをお使いください。Lサイズ（125mm×88mm）より小さい写真はセットできません（2-36ページ）。また、Lサイズを超える部分は読み取ることができず、写真の一部が欠けてプリントされます。

■ **コピープリント機能を使うときの読み取りサイズについて（複数枚コピー、拡大・縮小コピーを除く）**

この機能を使う場合、原稿をいったん本機のメモリーに読み込んでから、コピーします。そのため原稿を読み取れるサイズが、写真Lサイズになります。
ただし「左右を反転してコピーする」はA4サイズまで読み取れます。

写真からカレンダーを作る（カレンダープリント）

A4サイズの記録紙やはがきにＬサイズの写真を使って、オリジナルのカレンダーをプリントすることができます。
この機能を使うときは、カラーインクカートリッジをご使用ください。（5-24～5-25ページ）

写真からカレンダーを作る

あらかじめ記録紙をセットしておきます。

1 原稿ガイドを合わせて
写真を裏向きにセットする（3-24ページ）

途中でやめるとき
停止ボタンを押す

１つ前に戻るとき
戻るボタンを押す

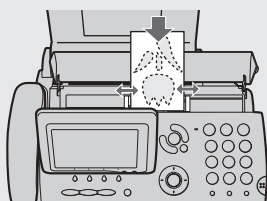
●一度に１枚セットします。

2 （ホームプリント）**を押す**

3 （▲）**または**（▼）**で「コピープリント」を選び、**（FAXスタート 決定）**を押す**

●記録紙がひきこまれます。
●写真が読み取られ、読み取り終了後、左の画面が表示されます。

4 （▲）**または**（▼）**で「カレンダープリント」を選び、**（FAXスタート 決定）**を押す**

1 回転なし
2 右90°回転
3 180°回転
4 左90°回転
で選択，[決定] で決定
画　質　　記録紙　戻 る

5 （▲）**または**（▼）**で写真の種類に合わせて回転のしかたを選び、**（FAXスタート 決定）**を押す**

カレンダープリント
2001年 10月
[ダイヤル]で変更，[決定] で決定
画　質　　記録紙　取 消

次ページへ→

→つづき

6 ダイヤルボタンで作りたいカレンダーの西暦年、月を入れる

例：２０[０][２]年[０][１]月

指定年月:2002年 01月

[コピー] でコピーを開始します
画質　記録紙　戻る

●2048年12月まで入れることができます。
●ディスプレイに表示されている西暦年、月を入れるときはFAXスタート/決定ボタンを押して手順７に進みます。

7 (コピー/印刷) を押す

●プリントを開始します。

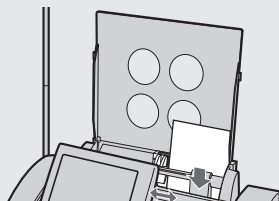
お知らせ

● 祝日は赤色の文字でプリントされません。

写真からプリントシールを作る（シールプリント）

Ｌサイズの写真を縮小してシール紙にプリントすることができます。
１枚で16コマのシールを作ることができます。
この機能を使うときは、カラーインクカートリッジをご使用ください。（5-24～5-25ページ）

写真からプリントシールを作る

1 記録紙ガイドを合わせて **シール紙のプリントする面を表向きにセットする**

2 原稿ガイドを合わせて **写真を裏向きにセットする（3-24 ページ）**

3 **を押す**

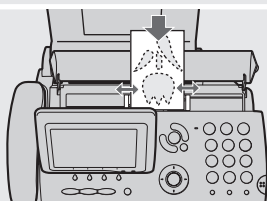
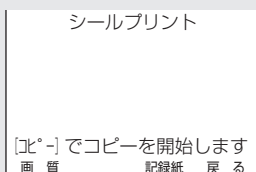
4 ▲ **または** ▼ **で「コピープリント」を選び、** （FAXスタート 決定） **を押す**

途中でやめるとき
停止ボタンを押す

１つ前に戻るとき
戻るボタンを押す

●一度に１枚しかセットできません。
●記録紙の種類は自動的に設定されます。記録紙ボタンを押して選ぶ必要はありません。

次ページへ→

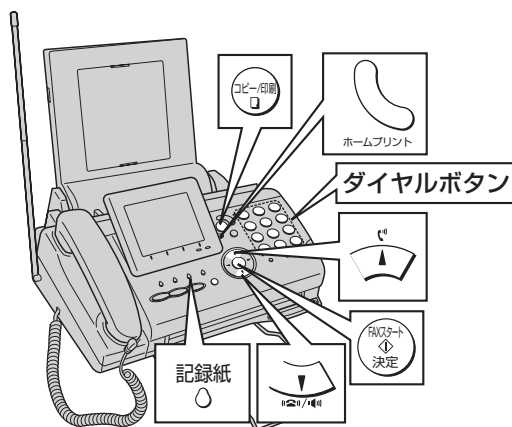
→つづき

6 コピー/印刷 を押す

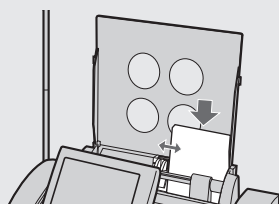
●プリントを開始します。

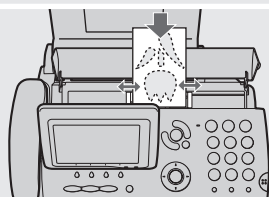
お知らせ

- 仕上がりの色を調整することができます。（色調整）（3-52ページ）
- A4サイズの記録紙をセットしているときはシール紙の大きさ（はがきサイズ）でプリントします。
- シールのサイズより大きくプリントします。（シールをはがすと、回りが切り取られます。）
- シール紙のセット位置の誤差などによって、プリント位置がシール枠からずれることがあります。

写真入りはがきを作る（オートハガキレイアウト）

はがきの上半分にＬサイズの写真をコピーすることができます。このとき自動的に回転（時計回りに90度回転）して、縮小コピーします。
この機能を使うときは、カラーインクカートリッジをご使用ください。（5-24～5-25ページ）

写真入りはがきを作る

1 記録紙ガイドを合わせて
はがきのプリントする面を表向きにセットする

2 記録紙 **を押して記録紙の種類を選ぶ**

3 原稿ガイドを合わせて
写真を裏向きにセットする（3-24ページ）

4 ホームプリント **を押す**

5 ▲ **または** ▼ **で「コピープリント」を選び、** FAXスタート/決定 **を押す**

6 ▲ **または** ▼ **で「オートハガキレイアウト」を選び、** FAXスタート/決定 **を押す**

コピー部数＝ 01部

[ダイヤル] で変更，[決定] で決定
画 質　　記録紙　取 消

途中でやめるとき
停止ボタンを押す

１つ前に戻るとき
戻るボタンを押す

●はがき（縦方向）は一度に20枚までセットできます。

次ページへ→

→つづき

7 ダイヤルボタンで枚数を2ケタ（01〜99）で入力する

コピー部数= 03部
[ダイヤル] で変更, [決定] で決定
画　質　　記録紙　取　消

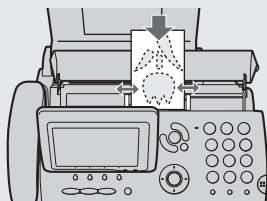
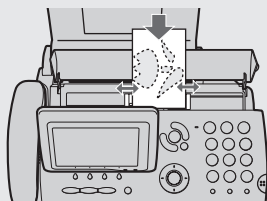
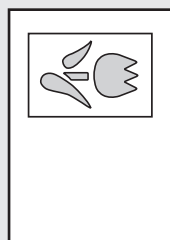
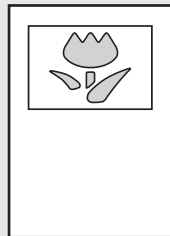
●1枚だけプリントするときは枚数を入力しないで、手順8に進みます。

8 （FAXスタート/決定）を押す

オートハガキレイアウト　3 部
[コピー] でコピーを開始します
画　質　　記録紙　取　消

9 （コピー/印刷）を押す

●プリントを開始します。

出来上がり

この写真で写真入りはがきを作ると…

この写真で写真入りはがきを作ると…

●自動的に縮小してレイアウトします。

※写真はＬサイズのものを裏にして、縦向きにセットしてください。
（Ｌサイズより大きいものや、横向きにセットすると写真の一部が欠けてプリントされます。）

左右を反転してコピーする（アイロンプリント）

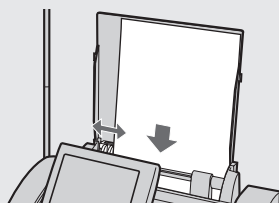
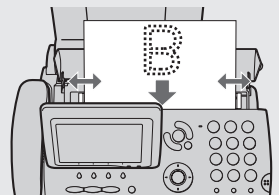
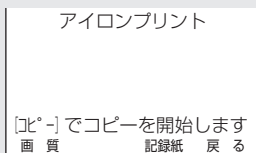
Tシャツ転写用プリント紙にコピーすることができます。このとき左右を反転してコピーするので、Tシャツなどに転写すると正しい向きになります。
Tシャツ転写用プリント紙は当社推奨品（6-2ページ）をお買い求めください。
また、アイロンについては、Tシャツ転写用プリント紙の取扱説明書をご覧ください。
この機能を使うときは、カラーインクカートリッジをご使用ください。（5-24～5-25ページ）

左右を反転してコピーする

途中でやめるとき
停止ボタンを押す

１つ前に戻るとき
戻るボタンを押す

1 記録紙ガイドを合わせて
Tシャツ転写用プリント紙のプリントする面を表向きにセットする

- 一度に１枚しかセットできません。
- 記録紙の種類は自動的に設定されます。記録紙ボタンを押して選ぶ必要はありません。
- プリントする面は、Tシャツ転写用プリント紙の取扱説明書で必ず確認してください。

2 原稿ガイドを合わせて
原稿を裏向きにセットする

- 一度に１枚しかセットできません。
- A4サイズまでセットできます。

3 （ホームプリント）**を押す**

4 （▲）**または**（▼）**で「コピープリント」を選び、**（FAXスタート 決定）**を押す**

5 （▲）**または**（▼）**で「アイロンプリント」を選び、**（FAXスタート 決定）**を押す**

アイロンプリント
[コピ゜-] でコピーを開始します
画　質　　　記録紙　戻　る

6 （コピー/印刷）**を押す**

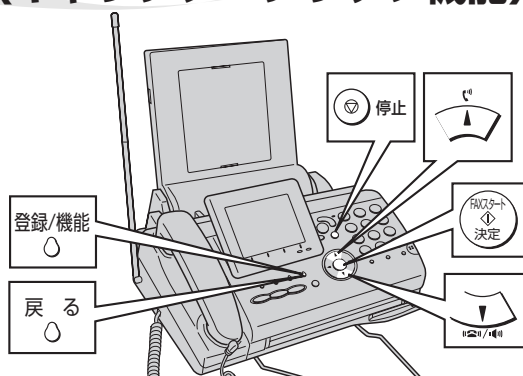
- プリントを開始します。

アイロンプリントした熱転写紙を使ってアイロンをかけると……

お知らせ

- 本機はインクジェットプリント方式でプリントします。そのためカラーリボン転写用のシートであるシャープ製品のワープロ用アイロンシート（WP114）は使えません。

親機の画面のデザインを変える（キャラクタークリップ機能）

親機の待機画面・電話がかかってきたときの画面・メールが届いたときの画面のアニメーション部分を変えることができます。
はじめは、待機画面は「小鳥のいたずら」、電話着信画面は「流れる音符」、メール着信画面は「飛んできた手紙」になっています。
この3種類のアニメーションのほかに、デジタルカメラ画像保存で保存した画像（3-19〜3-20ページ）や、"J-web"で取り込んだデータ（4-48ページ）に変えることができます。

親機の画面のデザインを変える

1 登録/機能 **を押す**

2 ▲ または ▼ で「画面設定」を選び、FAXスタート/決定 **を押す**

画面設定
1 液晶コントラスト調整
2 待機画面設定
3 電話着信画面設定
4 メール着信画面設定
で選択，[決定] で決定
記録紙　戻 る

3 ▲ または ▼ で **2〜4の中からデザインを変えたい画面を選び、** FAXスタート/決定 **を押す**
（右の画面は待機画面設定の例です。）

待機画面設定
1 小鳥のいたずら
2 流れる音符
3 飛んできた手紙
4 --------------------
5 --------------------
で選択，[決定] で決定
記録紙　戻 る

● 4〜8 はデジタルカメラ画像保存したデータ、または"J-web"をご利用の場合、ホームページなどから取り込んだ画像があるときに選ぶことができます。

4 ▲ または ▼ で **種類を選び、** FAXスタート/決定 **を押す**

流れる音符
1 登録
2 内容を確認
で選択，[決定] で決定
記録紙　戻 る

5 ▲ または ▼ で「登録」を選び、FAXスタート/決定 **を押す**

流れる音符
に設定しました

6 停止 **を押す**

途中でやめるとき
停止ボタンを押す

1つ前に戻るとき
戻るボタンを押す

■内容を確認するときは

① 「親機の画面デザインを変える」の手順1〜4の操作をする
② ▲ または ▼ で「内容を確認」を選び、FAXスタート/決定ボタンを押す
③ 停止ボタンを押す

再ダイヤルの記憶を電話帳に登録する（子機）

子機では再ダイヤルに記憶した電話番号を電話帳に登録することができます。

子機の再ダイヤルの記憶から子機の電話帳に登録する

通話ボタンを消灯させた状態で操作します。

手順	画面表示	補足
1 ◁ **を押す**	〈再ダ イヤル01〉 09012345678 15：01	
2 △ **または** ▽ **で登録する電話番号を選んだあと、** ▷ **を2回押す**	名前？ ［漢］ ［機能］決定	
3 名前を入れる（最大全角6文字、半角12文字） （1-39～1-40, 1-44～1-46ページ）	名前 ［漢］ 池田 悟 ［機能］決定	●名前の入力を省略するときは機能ボタンを2回押して手順6へ進みます。
4 機能 **を押す**	読み 半［カナ］ イケダ サトシ ［機能］決定	
5 「読み」が正しければ 機能 **を2回押す**	池田 悟 第2番号？ ［機能］決定	●「読み」に変更があれば修正します。（1-39～1-40, 1-44～1-46ページ） ●「読み」の入力は半角文字で最大12文字まで入力できます。 ●再ダイヤルの番号を第1番号として登録します。
6 電話番号（第2番号）を入れる（最大16ケタ）	池田 悟 0387654321 ［機能］決定	●第2番号を省略するときは手順7へ進みます。
7 機能 **を押す**	池田 悟 登録しました 残り： 92	●「ピー」と鳴り、残りの登録可能件数を表示して登録を完了します。

お知らせ

● 親機の再ダイヤルの記憶を電話帳に登録することはできません。

モーニングコールを使う（子機）

子機で、モーニングコールを設定することができます（あらかじめ子機の時刻を設定しておく必要があります）。「ピッ・ピッ…」とアラーム音が鳴って、お知らせします（約5分間隔で7回くり返し）。また、アラーム音をメロディーに変えることもできます。

子機でモーニングコール（アラーム）を設定する

通話ボタンを消灯させた状態で操作します。

途中でやめるとき
切ボタンを押す

1 機能 **を押す**

▶用件再生
優先呼出
着信音色
◀終了　選択▶

2 ▲ **または** ▼ **で「アラーム」を選んだあと、**▶ **を押す**

▶アラーム時刻
アラーム設定
アラーム音色
◀戻る　選択▶

3 ▲ **または** ▼ **で「アラーム時刻」を選んだあと、**▶ **を押す**

アラーム時刻
00:00
[機能] 決定

4 アラーム時刻をダイヤルボタンで入力する（24時間制で4ケタ入力します）

アラーム時刻
07:00
[機能] 決定

●すでに設定している時刻を変更するときは、▶ または ◀ で変更する時刻にカーソルを移動し、新しい時刻を入力します。

5 機能 **を押す**

アラーム　07:00
設定しました

●⏰マークが表示されます。

■ モーニングコールの音を途中で止めるときは
モーニングコールのアラーム音が鳴っているときに子機のいずれかのボタンを押すと、アラーム音はいったん止まります。（クイック通話をしているときは、充電器に戻したり、取り上げたりしても止まります。）このあと約5分後には再びアラーム音が鳴り始めます。

■モーニングコールを解除／もう一度設定する時は
① 機能ボタンを押す
② ▲ または ▼ で「アラーム」を選んだあと、▶ を押す
③ ▲ または ▼ で「アラーム設定」を選んだあと、▶ を押す
④ ▲ または ▼ で「解除」または「設定」を選ぶ
⑤ 機能ボタンを押す

お知らせ
● 子機の時刻が正しく合っていないと、モーニングコール設定を行っても正しい時刻にアラーム音は鳴りません。子機の時刻を合わせてから、モーニングコールを設定してください。
● アラーム音は、子機で設定した呼び出し音量と同じ大きさで鳴ります。

アラーム音を選ぶ

通話ボタンを消灯させた状態で操作します。

1 機能 **を押す**

▶用件再生
優先呼出
着信音色
◀終了　選択▶

2 △ **または** ▽ **で「アラーム」を選んだあと、▷ を押す**

▶アラーム時刻
アラーム設定
アラーム音色
◀戻る　選択▶

3 △ **または** ▽ **で「アラーム音色」を選んだあと、▷ を押す**

▶通常アラーム
メロディ
[機能] 決定

4 △ **または** ▽ **でアラーム音（通常アラームまたはメロディ）を選んだあと、機能 を押す**

アラーム音色
メロディ
にしました

途中でやめるとき
切ボタンを押す

●アラーム音は次の２種類の中から選ぶことができます。

通常アラーム	ピッピッピッ…
メロディ	ボッケリーニのメヌエット

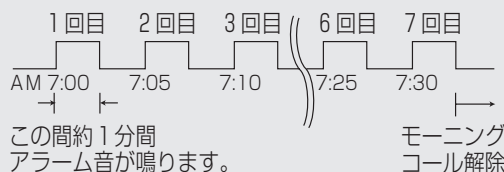
設定した時刻になると**アラーム音が鳴り始めます。**

液晶ディスプレイに（（♪））マークが点灯します。

５分後

合計７回くり返します。（７回くり返すと、モーニングコールを自動的に解除します。）

ピッ・ピッ・ピッ…
(約1分間)

（例）午前7：00にモーニングコールを設定したとき、右の図のようになります。

通話内容や伝言メモを録音する（親機）

親機では伝言を録音したり、通話中の大切な用件をメモ代わりに録音することができます。すべての録音を合わせて、最大約14分間録音できます。
登録件数は30件までです。１件の録音時間が長いと録音できる時間が減少し、30件録音できないこともあります。

親機で通話を録音する

スピーカーホン通話中は受話器を取ってから操作してください。

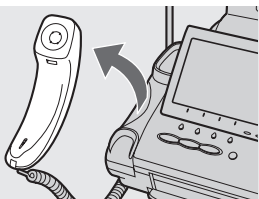
1 通話中に
再生/録音 **を押す**

通話録音中
[停止] で終了

2 **録音をやめるときは**
停止 **を押す**

●録音が終わったら、日付／時刻／件数が自動的に録音され留守ボタンが点滅します。（日時スタンプ機能）

親機で伝言メモを録音する

1 **受話器を取る**

2 再生/録音 **を押して、受話器で伝言を話す**

3 **話し終わったら、**
停止 **を押して受話器を置く**

●録音が終わったら、日付／時刻／件数が自動的に録音され留守ボタンが点滅します。（日時スタンプ機能）

■ **録音内容を再生するときは（2-82～2-83ページ）**

■ **録音内容を消去するときは（2-84ページ）**

お知らせ

- 子機では通話や伝言メモを録音することはできません。
- スピーカーホンで通話録音や伝言メモ録音することはできません。
- 内線通話中やドアホン通話中は、通話録音できません。

自分で呼出音を作る（オリジナルメロディー）

子機では、電話がかかってきたときの呼出音メロディーを自分で作成することができます。（着メロ作曲機能）
最大60音までの範囲で、自由にメロディーを入力し、お好みの呼出音を作成できます。

■入力できる音の高さ
次の高さの音が入力できます。（３オクターブの範囲です。半音も使えます。）

低音（1オクターブ下）
（入力画面では、「L」が表示されます。）

中音（標準）
（入力画面では、「M」が表示されます。）

高音（1オクターブ上）
（入力画面では、「H」が表示されます。）

■入力できる音符・休符
次の音符や休符が入力できます。

ディスプレイ表示	音符	休符	長さ	ディスプレイ表示	音符	休符	長さ
1	𝅝	𝄻	全音符（休符）	4.	♩.	𝄽.	付点4分音符（休符）
16	𝅘𝅥𝅯	𝄿	16分音符（休符）	2	𝅗𝅥	𝄼	2分音符（休符）
16.	𝅘𝅥𝅯.	𝄿.	付点16分音符（休符）	2.	𝅗𝅥.	𝄼.	付点2分音符（休符）
8	♪	𝄾	8分音符（休符）	16_3	3	—	16分3連符
8.	♪.	𝄾.	付点8分音符（休符）	8_3	3	—	8分3連符
4	♩	𝄽	4分音符（休符）	4_3	3	—	4分3連符

■入力画面のしくみ

子機の呼出音（オリジナルメロディー）を作成する操作です。

子機のオリジナル（自作）メロディーを作る

通話ボタンを消灯させた状態で操作します。

1 機能 **を押す**

▶用件再生
優先呼出
着信音色
◀終了　選択▶

2 または で「着信音色」を選んだあと、を押す

▶音色選択
ｵﾘｼﾞﾅﾙﾒﾛﾃﾞｨ
◀戻る　選択▶

3 または で「オリジナルメロディ」を選んだあと、を押す

▶変更
消去
新規登録
◀戻る　選択▶

●登録されているメロディーが鳴ります。

4 または で「新規登録」を選んだあと、を押す

ﾃﾝﾎﾟ 入力
120
[機能] 決定

5 ダイヤルボタンでテンポを入力する（40～190）

ﾃﾝﾎﾟ 入力
090
[機能] 決定

●はじめは120になっています。（数値が大きい方がテンポが速くなります。）
●▲または▼で、テンポを調整することもできます。このときは4テンポ間隔となります。
●▶または◀でカーソルを動かせます。
●メロディーの入力画面になります。

6 機能 **を押す**

▶01：____ _
02：____ _
03：
[機能] 決定

7 ダイヤルボタンでメロディーを入力する

（例）中音「ソ」4分音符

▶01：Mｿ　4
02：____ _
03：
[機能] 決定

●3-41ページのメロディーの入力方法を参照して、メロディーを入力してください。

次ページへ→

→つづき

8 次の音を入力するときは

 を押す

●音符や休符の種類を指定したあとや１つ前の音とちがうボタンで音の高さや休符を指定するときは、この操作は必要ありません。

9 手順７～８をくり返して、すべてのメロディーを入力する（最大60音）

●メロディーを途中で確認するときや、テンポを修正するときは、文字切替／キャッチボタンを押すと、入力したところまでのメロディーが確認できます。
また、メロディーの確認中に ▲ または ▼ で、テンポを変更することができます。

●メロディーを修正するときは、▲ または ▼ で、修正したい音を表示させたあと、クリアボタンを押します。

10 すべてのメロディーを入力したら

機能 **を押す**

▶登録
変更

［機能］決定

●作り終わったオリジナルメロディーをすぐに変更するときは、このあと ▲ または ▼ で、「変更」を選んだあと、機能ボタンを押すと、手順５に戻ります。

11 または で「登録」を選んだあと、機能を押す

ｵﾘｼﾞﾅﾙﾒﾛﾃﾞｨ

登録しました

●このあと、待機画面に戻ります。

■ **作ったメロディーを利用するときは**

「子機の呼出音の種類を変える」（1-32ページ）の手順３でオリジナルメロディーを選びます。

■ **オリジナルメロディーを消去するときは**

① 手順１～３を操作する
② ▲ または ▼ で「消去」を選ぶ
③ ▶ を押す
④ 機能ボタンを押す

お知らせ

● 登録中に電話がかかってくると、入力中のメロディーは、登録されません。はじめからやり直してください。
● 操作の途中で１分以上何もしないでおくと、待機画面に戻ります。このときは、はじめからやり直してください。

メロディーを入力するには、ダイヤルボタンを使って、音の高さ（ド～シ）や休符、音の長さを入力します。各ダイヤルボタンには音の高さ（ド～シ）や休符、音の長さを入力できるように割り当てられています。ボタンを押すごとに、入力が切り替わります。（入力割り当て表3-41ページ）

音の高さや休符を指定する

メロディーの入力画面にしたあと、ダイヤルボタンで入力します。

●ボタンを１回押すと、中音で４分音符が指定されます。
同じボタンをくり返し押すと、同じ音で半音や１オクターブ上または下の音が入力できます。

（例）中音「ソ」４分音符

▶01：Mソ　　4
02：____ _
03：
[機能] 決定

9 ／ ＊ ／ # は、音符や休符を選んでいるときのみ有効となります。

音符や休符の種類を指定する

＊ または # をくり返し押し、音符や休符の種類を指定します。

●休符の場合も、音符の指定と同様になります。

（例）中音「ソ」８分音符

音をのばすとき（スラーの指定）

音符を選んだあと、8 を押します。

●「―――>」が表示されます。
次の音となめらかにつながるようになります。

符点付きの音符や３連符にするとき

音符を選んだあと、9 を押し付点や３連符を指定します。

（例）中音「ソ」の８分の３連符（♫）の場合３連符を指定した「ソ」を３つ入力します。

■入力割り当て表

押すボタン 子機	音階	表示（M：中音／H：高音／L低音／♯：半音）
1	ド	Mド → Mド# → Hド → Hド# → Lド → Lド#
2	レ	Mレ → Mレ# → Hレ → Hレ# → Lレ → Lレ#
3	ミ	Mミ → Hミ → Lミ
4	ファ	Mファ→Mファ#→Hファ→Hファ#→Lファ→Lファ#
5	ソ	Mソ → Mソ# → Hソ → Hソ# → Lソ → Lソ#
6	ラ	Mラ → Mラ# → Hラ → Hラ# → Lラ → Lラ#
7	シ	Mシ → Hシ → Lシ
8		ーーー>（スラー） → （スラーなし）
9		※1 .（符点） → ※2 __3（3連符） → （なし）
0	休符	（子機） . . . .
＊		8（8分音符／休符） → 16（16分音符／休符） → 1（全音符／休符） → 2（2分音符／休符） → 4（4分音符／休符）
#		2（2分音符／休符） → 1（全音符／休符） → 16（16分音符／休符） → 8（8分音符／休符） → 4（4分音符／休符）

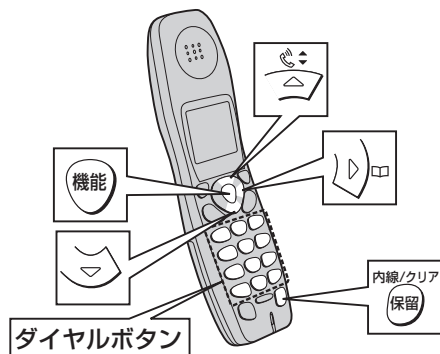
※1 符点は、4分音符（4分休符）、8分音符（8分休符）、16分音符（16分休符）、2分音符（2分休符）にのみ有効です。
※2 3連符は、4分音符（4分休符）、8分音符（8分休符）、16分音符（16分休符）にのみ有効です。

メロディーを入力中に次のボタンを使って、メロディーの確認や変更ができます。

押すボタン 子機	機　　能
内線/クリア 保留	<短く押す>選択中の1音を削除　<2秒以上押す>全音削除
文字切替/キャッチ	メロディー確認
▲ または ▼	音符スクロール（メロディー確認中はテンポが変更されます。）

お知らせ

- 「ミ」または「シ」は、半音上げることはできません。
- 「♯：シャープ」は、音を半音上げます。「♭：フラット」は、半音下げます。「♭」にするときは、1つ下の音階を入力したあと、半音上げてください。

登録したオリジナルメロディーを変更するときの操作です。

オリジナルメロディーを変更する

通話ボタンを消灯させた状態で操作します。

1 「オリジナルメロディーを作る」（3-38ページ）の手順１～３を行う

▶変更
消去
新規登録
◀戻る　選択▶

2 または で「変更」を選んだあと、を押す

テンポ 入力
150
[機能] 決定

3 ダイヤルボタンでテンポを変更したあと、機能を押す

▶01：Mファ　4
02：Mソ　4
03：Mシ　4
[機能] 決定

●▲または▼で、テンポを調整することもできます。（最小40から最大190まで、４テンポ間隔）
●▶または◀でカーソルを動かせます。
●メロディー変更画面になります。

4 または で変更したい音を選ぶ

途中でやめるとき
切ボタンを押す

次ページへ→

→つづき

5 音を変更する

音符や休符を変更するとき

音長を変更する ▶ トーン＊ または ＃

符点や３連符を変更する ▶ 9

音符または休符を追加するとき

音符を追加する ▶ 1 ～ 7

休符を追加する ▶ 0

音符または休符を消去するとき

内線/クリア 保留 を押す（短く押す）

●音の高さを変えたり、音符を休符、休符を音符に変更することはできません。いったん消去したあと、正しい音符や休符を追加してください。

●選んだ音の前に、新しい音が追加されます。
●すでに60音入力されているときは、追加できません。

●選んだ音の１音が消去されます。スラー付きの音を消去すると、スラーも消去されます。
●クリアボタンを２秒以上押し続けると、すべての音が消去されます。

6 変更が終わったら

機能 **を押す**

7 △ または ▽ で「登録」を選んだあと、機能 を押す

オリジ゛ナルメロデ゛ィ
登録しました

●このあと、待機画面に戻ります。

登 録 例

次の曲を登録する場合のボタン操作を示します。（例：メヌエット　バッハ作曲より）

♩=110 テンポ

音番号

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16

17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 32

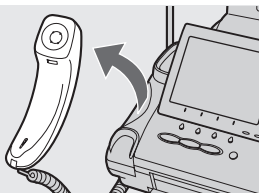
オリジナル（自作）メロディーを作る（3-38ページ）の手順４～７の操作で下記のようにダイヤルボタンを押すと上の曲が入力できます。（×数字は、ボタンを押す回数です。⇩は同じ音が続くので ▼ を押してから次の音符を入力することを表しています。）

1	2	3	4	5	6	7
2 ×3	5、＊	6、＊	7、＊	1×3、＊	2 ×3	5 ⇩
8	**9**	**10**	**11**	**12**	**13**	**14**
5	3 ×2	1×3、＊	2×3、＊	3×2、＊	4×4、＊	5×3 ⇩
15	**16**	**17**	**18**	**19**	**20**	**21**
5 ⇩	5	1 ×3	2×3、＊	1×3、＊	7、＊	6、＊
22	**23**	**24**	**25**	**26**	**27**	**28**
7	1×3、＊	7、＊	6、＊	5、＊	6	7、＊
29	**30**	**31**	**32**			
6、＊	5、＊	4 ×2、＊	5、#、9	機能 を2回押してメロディーを登録します。		

プッシュホンのサービスを利用する

ダイヤル回線をお使いの場合でもトーンボタンを押すと、プッシュ回線と同じトーン信号（ピッ、ポッ、パッ）を出すことができますので、交通機関の予約や銀行の残高照合などのプッシュホンサービスを利用できます。

親機でプッシュホンサービスを使う（ダイヤル回線ご利用時）

1 受話器を取る

●受話器を置いたまま電話をかけるときはスピーカーホンボタンを押します。

2 各種サービスにダイヤルする

3 (トーン ＊) を押す

●このあとアナウンスにしたがって操作します。
●これ以降は、ダイヤルボタンを押すとトーン信号が送られます。
●電話を切ると、自動的にもとのダイヤル回線の信号（パルス信号）に戻ります。

子機でプッシュホンサービスを使う（ダイヤル回線ご利用時）

1 (通話) を押す

電話番号?

●子機を置いたまま電話をかけるときはスピーカーホンボタンを押します。

2 各種サービスにダイヤルする

3 (トーン ＊) を押す

●このあとアナウンスにしたがって操作します。
●これ以降は、ダイヤルボタンを押すとトーン信号が送られます。
●電話を切ると、自動的にもとのダイヤル回線の信号（パルス信号）に戻ります。

■ **トーン信号とは**

プッシュホン回線（トーン）で電話をかけるときの「ピッ、ポッ、パッ」という音のことです。
ダイヤル回線でご契約されている方でも、トーンボタンを押すと、このトーン信号を出すことができます。

お知らせ

● サービスの種類によっては、トーンボタンを使っても受けられないものがありますので、詳しくは各サービスの提供先に確かめてください。
● 子機でトーンボタンを使ってサービスを受ける場合、トーン信号をうまく受け付けないサービスもあります。このときは、親機を利用してください。

外出先から用件や伝言を聞く（リモート操作）

外出先から録音されたメッセージを聞いたり、その他のリモート操作をしたりすることができます。
リモート操作をするには、あらかじめ暗証番号の登録が必要です。

暗証番号を登録する

受話器を置いたまま操作します。

途中でやめるとき
停止ボタンを押す

1つ前に戻るとき
戻るボタンを押す

1 登録/機能 を押す

2 ▲ または ▼ で「詳細設定」を選び、FAXスタート/決定 を押す

3 ▲ または ▼ で「留守録暗証番号」を選び、FAXスタート/決定 を押す

1 登録
2 消去
で選択，[決定] で決定
記録紙　戻る

4 ▲ または ▼ で「登録」を選び、FAXスタート/決定 を押す

留守録暗証番号
一般=　（4桁）
4桁 入力してください
記録紙　戻る

5 暗証番号を入れる（4ケタ）

●番号を押しまちがえたときは、取消ボタンを押して、もう一度入れ直します。

6 FAXスタート/決定 を押す

登録しました
[決定] で決定します
記録紙　戻る

7 停止 を押す

■ 登録した暗証番号を消すときは

① 登録/機能ボタンを押す
② ▲ または ▼ で「詳細設定」を選び、FAXスタート/決定ボタンを押す
③ ▲ または ▼ で「留守録暗証番号」を選び、FAXスタート/決定ボタンを押す
④ ▲ または ▼ で「消去」を選び、FAXスタート/決定ボタンを押す
⑤ もう一度FAXスタート/決定ボタンを押す
⑥ 停止を押す

■ 暗証番号を変えるときは

もう一度暗証番号を登録（上書き）します。

■ 暗証番号を忘れたときは

忘れた暗証番号の確認はできません。新しい暗証番号を登録（上書き）します。録音内容は消えません。

外出先から用件や伝言を聞く（リモート操作）

外出先から操作するときは、暗証番号や操作のしかたを忘れないように、リモート操作カード（6-33〜6-34ページ）を持ってお出かけください。

外出先から一般録音をリモート操作する

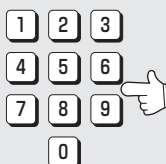
1 自宅に電話をかける

●ダイヤル回線の電話機からリモート操作するときは、ダイヤルしたあとにトーン信号に切り替えます。（トーン信号に切り替える方法は、電話機の取扱説明書をご覧ください。）

2 応答メッセージが聞こえている間に ＃ を押す（少し長めに押してください。）

● ＃ を押すと、流れている応答メッセージが止まります。このあと「暗証番号とシャープを押してください。」と聞こえます。

3 暗証番号（4ケタ）を押す

1 2 3
4 5 6
7 8 9
0

4 ＃ を押す

5 音声メッセージを聞いたあと **リモート操作番号を押す**

1 2 3
4 5 6
7 8 9
＊ 0 ＃

（例）録音内容を聞くときは、1 ＃ と押します。

6 リモート操作が終わったら **電話を切る**

■ リモート操作表

操作内容	リモート操作番号
録音内容を聞くには	1 #
早聞きや遅聞きをするには	再生中に 1 #（早聞き）→ 1 #（遅聞き）→ 1 #（元に戻る）
今聞いている録音内容を聞き直すには	再生中に 3 #
今聞いている録音内容の１件前を聞くには	再生中に 3 # 3 #
次の録音内容を聞くには	再生中に 4 #
止めるには	再生中に 5 #
再生済みの録音内容を消すには	停止中に 0 1 #
録音内容をすべて消すには（未再生の録音も消えます）（応答メッセージは消えません）	停止中に 0 2 #
留守を設定／解除するには	停止中に 6 #

■ 暗証番号を押すときは

- 10秒以上あいだをあけると「ピピピピ」音が聞こえます。手順３からやり直してください。
- 番号をまちがえると、「暗証番号がまちがっています。」と聞こえます。正しく入れ直します。（２回まちがえると電話は切れます。）

■ 一般録音の内容を聞くときは

留守に設定されているときに再生すると、留守設定以降に入った録音を一番古いものから順番に再生します。
留守に設定されていないときは、未再生の一番古い録音から、それ以降の録音を順番に再生します。

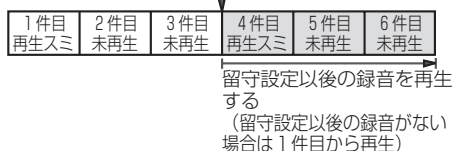
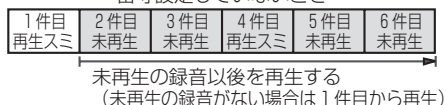
留守設定しているとき

			留守設定 ▼		
1件目 再生スミ	2件目 未再生	3件目 未再生	4件目 再生スミ	5件目 未再生	6件目 未再生

留守設定以後の録音を再生する
（留守設定以後の録音がない場合は１件目から再生）

留守設定していないとき

1件目 再生スミ	2件目 未再生	3件目 未再生	4件目 再生スミ	5件目 未再生	6件目 未再生

未再生の録音以後を再生する
（未再生の録音がない場合は１件目から再生）

■ トールセーバーとは

外から電話して、留守録の有無を確かめることができる機能です。トールセーバーに設定すると新しい録音があるときは、呼出音が２回（新しい録音がないときは５回）で留守応答します。（留守モード時のコール回数の設定で、トールセーバーにします。2-79ページ）

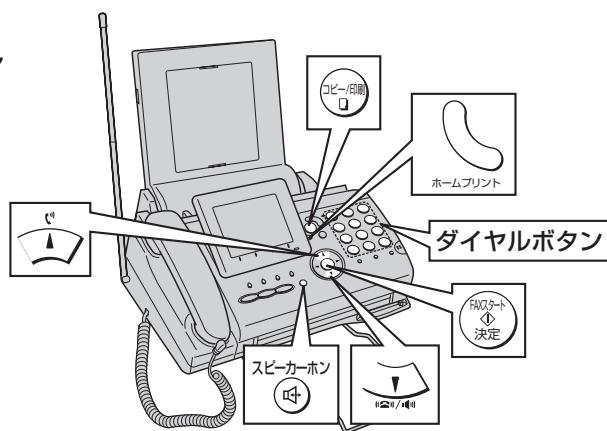
■ トールセーバー機能の使いかた

呼出音が２回鳴ってもつながらないときは、新しい録音がないことがわかります。
３回目の呼出音が聞こえたらすぐに電話を切ると通話料金がかかりません。

お知らせ

- 外出時には操作のしかたを記載した「リモート操作手順カード」をご利用ください。（6-33〜6-34ページ）
- 暗証番号を知らない人でも、偶然番号が合い盗聴されることがあります。機密の連絡用としてではなく、便利な伝言板としてお使いになることをおすすめします。
- 操作は１分以内に行ってください。（１分以上あけると電話が切れます。）
- ファクシミリが応答メッセージを流さないように設定しているとき（留守設定にしていないときで「在宅時コール回数」（2-70ページ）が「無制限呼出」のときなど）はリモート操作できません。

コードレスカラーハンドコピーを使ってファクスを送る

あらかじめハンドコピーで読み取ったデータを、ファクス送信するときの操作です。

ハンドコピーで読み取った原稿をファクス送信する

あらかじめ、「ハンドコピーで読み取ってすぐにプリントする」（2-48～2-49ページ）を行って、送りたい原稿をハンドコピーのメモリーに記憶させておいてください。
また、原稿をセットしていない状態で操作します。

1 ハンドコピーを本体に取り付けた状態で

を押す

2 または で「ハンドコピーメモリー確認」を選び、（FAXスタート/決定）を押す

ハンドコピーメモリー確認
1 新しいデータ
2 全てのデータ

[決定] で表示，[コピー] で印刷/
画質　記録紙　戻る

3 または で送りたいデータを選び、（コピー/印刷）を押す

ハンドコピー確認
新しいデータ　1枚
印刷は [コピー]
送信は受話器を取って
ダイヤルしてください

画質　記録紙　戻る

4 受話器を取るか、（スピーカーホン）を押して
「ツー」という音が聞こえたら
ダイヤルする

5 相手の方にファクスを送ることを伝えて

を押す

途中でやめるとき

送信データを選んでいるときは停止ボタンを押す
通話中は受話器を戻す
●スピーカーホンでダイヤル中のときはスピーカーホンボタンを押します。

1つ前に戻るとき

戻るボタンを押す

●「新しいデータ」とは、最後にハンドコピーを取り外したとき読み取ったすべてのデータのことです。
「全てのデータ」とは、メモリーに残っているすべてのデータです。

●電話帳を使ってダイヤルすることもできます。（2-16ページ）

●相手の方とお話ししないでファクスを送りたいときは、電話がつながったらFAXスタート/決定ボタンを押します。
●「ピー」音が聞こえると自動的にファクス送信に切り替わります。（おまかせ送信 2-56ページ）

次ページへ→

→つづき

6 受話器を戻す

●スピーカーホンボタンを押してダイヤルしたときは自動的に回線が切れます。

お知らせ

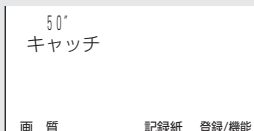
● カラーで読み取った原稿は相手機がカラー電送対応（カラーFAX国際標準規格準拠）のファクシミリでないときは送ることができません。

キャッチホンサービスを利用する

キャッチホンサービスを利用するには、NTTとの契約が必要です。

親機でキャッチホンサービスを使う

1 通話中に呼出音が聞こえたら キャッチ/消去 **を押す**

2 もとの通話に戻るときは もう一度 キャッチ/消去 **を押す**

●キャッチホン・ディスプレイサービス（4-114〜4-116ページ）を契約しているときは、相手の方の電話番号や名前が表示されます。

子機でキャッチホンサービスを使う

1 通話中に呼出音が聞こえたら 文字切替/キャッチ **を押す**

2 もとの通話に戻るときは もう一度 文字切替/キャッチ **を押す**

●キャッチホン・ディスプレイサービス（4-114〜4-116ページ）を契約しているときは、相手の方の電話番号と名前が表示されます。

お知らせ

- ファクス受信中に電話がかかってくると、ファクス画像が乱れたり、送受信が中断されたりする（通信エラーになる）ことがあります。
- 親機で通話中にキャッチホンでファクスを受信するときは、FAXスタート/決定ボタンを押して受話器を戻さずにお待ちください。受信中に受話器を戻すと電話が切れて、もとの相手の方との通話に戻れなくなります。
- 子機で通話中にキャッチホンでファクスを受信すると電話が切れて、もとの相手の方との通話には戻れません。
- 交換機の種類などによりキャッチ/消去ボタンや文字切替/キャッチボタンを押したときに電話が切れてしまうことがあります。こんなときは、キャッチホン切替時間を短く設定します。（6-7ページ）
- キャッチホンⅡサービスを利用すると、受信中に電話がかかってきても異常なく通信できます。なお、詳しくはNTTにお問い合わせください。
- キャッチホン・ディスプレイサービスを契約すると、呼出音が鳴ると同時にディスプレイに相手の方の電話番号などが表示されます。（4-114〜4-116ページ）

コピーやファクスをもっと便利に使う

コピーやファクスをもっと便利に使うために、いろいろな登録や設定ができます。

親機で設定します

途中でやめるとき	1つ前に戻るとき
停止ボタンを押す	戻るボタンを押す

工場出荷時は　　　　に設定されています。

設定項目／はたらき	登録の操作手順
見てからプリント メモリー受信した内容をプリントしないで画面で確認できるようにするか、すぐにプリントするかを設定できます。 ・**見てからプリント** メモリーで受信データを保存したままになり、受信内容を画面で確認できます。自動的にプリントしません。 ・**受信しながらプリント** インクカートリッジ、記録紙がセットされているときは、受信しながらプリントします。また、記録紙やインクがなくなったときは、メモリーに記録しています。（プリント後も、メモリーにデータは残っています。）	登録/機能 ▶ または で「**詳細設定**」を選ぶ ▶ 決定 ▶ または で「**FAX/コピー**」を選ぶ ▶ 決定 ▶ または で「**見てからプリント**」を選ぶ ▶ 決定 ▶ または で 1 見てからプリント 2 受信しながらプリント のどちらかを選ぶ ▶ 決定 ▶ 停止
終了音 コピーやファクスの送信・受信後に鳴る終了音の種類を選びます。 ・**鳥の声** 「鳥の声」でお知らせします。 ・**アラーム音** 「ピー音」でお知らせします。	 登録/機能 ▶ または で「**詳細設定**」を選ぶ ▶ 決定 ▶ または で「**FAX/コピー**」を選ぶ ▶ 決定 ▶ または で「**終了音**」を選ぶ ▶ 決定 ▶ または で 1 鳥の声 2 アラーム音 のどちらかを選ぶ ▶ 決定 ▶ 停止
色調整 カラーコピーしたものの色を、原稿の色に近づけるために赤色、緑色、青色の３色を5段階で調整します。 赤、緑、青のすべての色を強くすると、全体の色は淡くなります。 ・**赤** 赤色の強さを5段階調節できます。 ・**緑** 緑色の強さを5段階調節できます。 ・**青** 青色の強さを5段階調節できます。	 登録/機能 ▶ または で「**詳細設定**」を選ぶ ▶ 決定 ▶ または で「**FAX/コピー**」を選ぶ ▶ 決定 ▶ または で「**色調整**」を選ぶ ▶ 決定 ▶ または で 1 赤 2 緑 3 青 から選ぶ ▶ 決定 ▶ 再ダイヤル または 電話帳 で強さを調節する （初期設定3） ▶ 決定 ▶ 停止

途中でやめるとき
停止ボタンを押す

1つ前に戻るとき
戻るボタンを押す

工場出荷時は［網掛け］に設定されています。

設定項目／はたらき	登録の操作手順
印刷範囲設定 プリントできる範囲を広げることができます。「広く」に設定すると広くなった部分の記録紙送りの精度が低下するため、プリントの一部が乱れたり、汚れたりすることがあります。 ・**標準** 記録紙の下から18～22mmまでプリントします。 ・**広く** 記録紙の下から3～7mmまでプリントします。	登録/機能 ▶ ▲または▼で「**詳細設定**」を選ぶ ▶ FAXスタート/決定 ▶ ▲または▼で「**FAX/コピー**」を選ぶ ▶ FAXスタート/決定 ▶ ▲または▼で「**印刷範囲設定**」を選ぶ ▶ FAXスタート/決定 ▶ ▲または▼で 1 標準 2 広く のどちらかを選ぶ ▶ FAXスタート/決定 ▶ 停止
ハンドコピー倍率設定 ハンドコピーを使って拡大／縮小して読み取るときに選びます。 ・**0.8倍** 原稿を0.8倍に縮小して読み取ります。 ・**1.0倍** 原稿を等倍で読み取ります。 ・**1.4倍** 原稿を1.4倍に拡大して読み取ります。	登録/機能 ▶ ▲または▼で「**詳細設定**」を選ぶ ▶ FAXスタート/決定 ▶ ▲または▼で「**FAX/コピー**」を選ぶ ▶ FAXスタート/決定 ▶ ▲または▼で「**ハンドコピー倍率設定**」を選ぶ ▶ FAXスタート/決定 ▶ ▲または▼で 1 0.8倍 2 1.0倍 3 1.4倍 から選ぶ ▶ FAXスタート/決定 ▶ 停止
キータッチ音 親機のボタンを押したときに「ピッ」という音（キータッチトーン）を鳴らします。 ・**あり** 親機のボタンを押したときに「ピッ」という音（キータッチトーン）が鳴ります。 ・**なし** 「ピッ」という音（キータッチトーン）が鳴りません。	

子機をもっと便利に使う

子機をもっと便利に使うために、いろいろな登録・設定をすることができます。

子機で設定します

途中でやめるとき
切ボタンを押す

工場出荷時は　　　　に設定されています。

設定項目／はたらき	登録の操作手順
使用者表示 名前を登録すると、子機の待機画面に使う人の名前を表示することができます。また、子機を置く場所などを登録して利用することもできます。登録した名前を変更するときは、もう一度登録し直します。 （例）子機1 悟	通話ボタンを消灯した状態で または で「**使用者表示**」を選ぶ ▶ ダイヤルボタンで名前を入力する（全角6文字、半角12文字）（1-39～1-40、1-44～1-46ページ）使用者表示を消すときはクリアボタンを押して登録されているすべての文字を消します。
クイック通話（着信のときのみ） 子機を充電器から取り上げるだけで通話ボタンを押さなくても電話を受けることができます。 ・**設定** 着信時に子機を充電器から取り上げるだけで、すぐに通話できます。 ・**解除** 子機を充電器から取り上げたあと、通話ボタンを押してから通話します。	通話ボタンを消灯した状態で または で「**システム設定**」を選ぶ ▶ または で「**クイック通話**」を選ぶ ▶ ▶ または で 解除 設定 のどちらかを選ぶ ▶ 機能
キータッチ音出力 子機のボタンを押したときに、「ピッ」音（キータッチトーン）を鳴らします。 ・**設定** 子機のボタンを押したときに「ピッ」音（キータッチトーン）が鳴ります。 ・**解除** 「ピッ」音（キータッチトーン）は鳴りません。	通話ボタンを消灯した状態で または で「**システム設定**」を選ぶ または で「**キータッチ音出力**」を選ぶ または で 解除 設定 のどちらかを選ぶ

途中でやめるとき
切ボタンを押す

工場出荷時は ■ に設定されています。

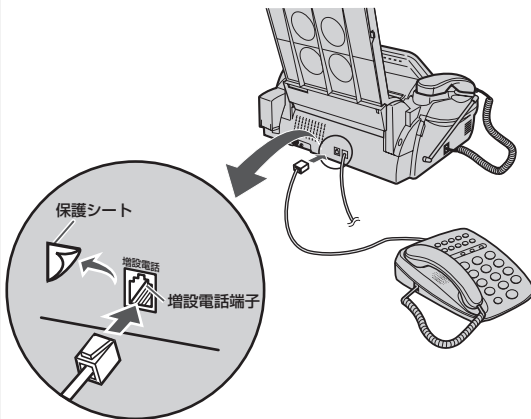
設定項目／はたらき	登録の操作手順
待ち受け時間 充電完了後に、子機を充電器に置いていない状態で、待ち受けられる時間を長くすることができます。 ・**標準** 待ち受け時間は約200時間になります。 ・**長時間** 待ち受け時間は約240時間になります。（「長時間」にすると「標準」のときよりも子機の呼出音が遅れて鳴ることがあります。） 待ち受け時間とは充電完了後に子機を充電器に置かずに一度も通話しない状態で待ち受けられる時間です。通話したり呼出音が鳴ったりすると待ち受け時間は短くなります。	通話ボタンを消灯した状態で ▶ 機能 ▶ △または▽で「**システム設定**」を選ぶ ▶ ▷ ▶ △または▽で「**待ち受け時間**」を選ぶ ▶ ▷ ▶ △または▽で 標準 長時間 のどちらかを選ぶ ▶ 機能
液晶ディスプレイ（LCD）のコントラスト調整 ディスプレイのコントラスト（表示の濃さ）を16段階調整できます。 ・**▲濃く** コントラストを濃くします。 ・**▼薄く** コントラストを薄くします。	通話ボタンを消灯した状態で ▶ 機能 ▶ △または▽で「**システム設定**」を選ぶ ▶ ▷ ▶ △または▽で「**LCDコントラスト**」を選ぶ ▶ ▷ ▶ △または▽で調節する [LCDコントラスト ▲ 濃く ▼ 薄く ［機能］決定] ▶ 機能
登録初期化 子機の電話帳に登録した内容などすべての登録内容が消えて工場出荷時の状態に戻ります。	通話ボタンを消灯した状態で ▶ 機能 ▶ △または▽で「**システム設定**」を選ぶ ▶ ▷ ▶ △または▽で「**登録初期化**」を選ぶ ▶ ▷ [初期化する？ ［機能］決定] ▶ 機能

増設電話機を使う

お手持ちの電話機を増設電話機として接続することができます。
増設電話機として電源の要らない電話機を接続しておくと停電のときでも、電話をかけたり、受けたりすることができます。

増設電話を接続する

1 増設電話端子に接続する

●保護シートをはがし、電話機の接続コードを、本体の増設電話端子（左側の端子部）に「カチッ」と音がするまで差し込みます。

増設電話機で電話をかける

1 受話器を取る

2 「ツー」という音が聞こえたら **ダイヤルする**

●通話が終わったら受話器を戻します。

増設電話機で電話を受ける

1 呼出音が鳴ったら **受話器を取ってお話しする**

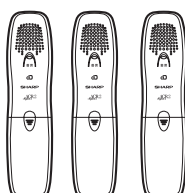
●通話が終わったら受話器を戻します。

お知らせ

- ファクシミリ本体と増設電話機との間で、内線通話はできません。
- 増設電話機で電話を受けたときは、ファクス受信に切り替えることができません。
- 増設端子には、電話機を１台しか接続できません。また、コードレス電話機は接続できません。
- 電話機の種類（留守番電話やホームテレホンなど）によっては、接続できないものや一部機能が使えなくなることがあります。
- 増設電話端子に、ＡＣＲ機能付電話機を接続するときは、増設電話機側でＡＣＲ機能が働かないように設定してください。それぞれの電話機でＡＣＲデータの受信ができなくなり、ＡＣＲ機能が正しく働かなくなります。
- ナンバー・ディスプレイ対応の増設電話機を接続するときは、増設電話機側のナンバー・ディスプレイ機能を働かないように設定してください。誤動作の原因になります。
- 増設電話機では、ＡＣＲ機能はご利用できません。スーパーＡＣＲ2をご利用の方は、ファクシミリの親機または子機をお使いください。（スーパーＡＣＲ2のデータが送られてきたときに増設電話機で受けるとデータが受信できません。）

子機を増設して使う（増設子機）

子機を増設すると子機を呼び出すときの子機番号は次のようになります

付属の子機　　増設した子機

子機番号 ①　　子機番号 ② ③ ④

● 子機は、付属の子機以外に 3 台まで増設することができます。
● 増設できる子機はCJ-KS7、CJ-KS5、CJ-KS3、CJ-KS2、CJ-KS1、UX-KF3CLです。
また、BS／CSチューナー用コードレス通信ユニット（CJ-KBS1）が増設できます。他の子機は増設できませんのでご注意ください。
● 増設子機の登録方法は、別売の増設子機に付属している登録手順説明書をご覧ください。（増設登録手順タイプAと記載されています。）
● 子機を増設したときは、操作が異なりますので、詳しくは増設子機の取扱説明書をご覧ください。

●UX-W90CLに増設した場合の機能比較

機能名＼機種名		付属の子機	CJ-KS7	CJ-KS5	CJ-KS3	CJ-KS2	CJ-KS1	UX-KF3CL	この取扱説明書の参照ページ
電話機能	電話帳機能	○（100人）	○（100人）	○（100人）	○（100人）	×※	×※	○（100人）	2-20〜2-25
	再ダイヤル	○（10件）	○（10件）	○（10件）	○（3件）	○	○	○	2-30
	着メロ作曲機能	○	×	○	○	×	×	×	3-37〜3-41
	ダイヤルボタン点灯	○	○	○	×	○	○	○	—
	ホットラインダイヤル	○	×	○	○	×	×	×	2-28
	優先呼出	○	○	○	○	×	×	○	2-6
	モーニングコール	○	○	○	○	×	×	○	3-34〜3-35
	子機間ひと声通知	○	○	○	○	○	○	○	3-58
	受話音量切換	特大・標準	特大・標準	特大・標準	特大・標準	大・標準	大・標準	大・標準	1-29
	スピーカーホン通話	○	○	○	×	×	×	○	2-9〜2-10
ナンバーディスプレイ関連	番号・名前表示	○	○	○	○	×	×	○	4-92〜4-93
	着信記録	○	○	○	○	×	×	○	4-96
	着信鳴り分け	○	○	○	○	×	×	○	4-107
ACR関連	通話料金のお知らせ	○	○	○	○	×	×	○	4-10

※短縮ダイヤルとして、10件まで記憶させることができます。

お知らせ

● 子機を増設しても、子機間の通話はできません。
ひと声通知の機能は使えます。

子機から子機へメッセージを伝える（子機間ひと声通知）

子機を増設すると子機から子機へメッセージを伝えることができます。
（呼び出された方の声は、呼び出した方には聞こえません。また、約10秒間で自動的に切れます。）

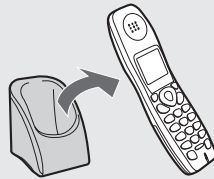
子機から子機へメッセージを伝える(子機を増設したとき)

途中でやめるとき
切ボタンを押す

1 子機
子機を充電器から取って
内線/クリア 保留 **を押す**

2 子機
呼び出したい子機の内線番号を押す

- 通話ボタンが点滅します。
- 他の子機の方が電話に出るまで「プププ・・・・」と鳴ります。

3 他の子機
呼出音が鳴ったら、
充電器から取る

- 充電器に置いていないときや、クイック通話を「解除」しているときは通話ボタンを押します。
- 通話ボタンが点灯します。

4 子機
他の子機の方が電話に出たら、メッセージを伝える（約10秒以内）

- 他の子機の方からの声は聞こえません。

5 他の子機
メッセージが聞こえる

6 子機
メッセージを話し終わったら
切 **を押す**

- この操作をしなくても約10秒後には自動的に電話は切れます。

子機から子機へとりつぐ（ひと声転送）

子機を増設してお使いの際は、子機にかかってきた電話を他の子機へとりつぐことができます。そのとき、ひと声だけメッセージを伝えることができます。（転送された方の声は、転送した方には聞こえません。このとき、約10秒間で自動的に転送されます。）

子機から他の子機へ転送する(ひと声転送)(子機を増設したとき)

1 子 機

子機で通話中に

内線/クリア 保留 **を押す**

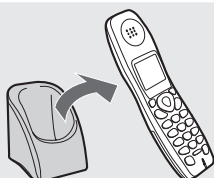
2 子 機

転送したい子機の内線番号を押す

- 相手の方には保留メロディが流れます。
- 他の子機の方が電話に出るまで「プププ・・・・」と鳴ります。

3 他の子機

呼出音が鳴ったら、
充電器から取る

- 充電器に置いていないときや、クイック通話を「解除」しているときは通話ボタンを押します。
- 通話ボタンが点灯します。

4 子 機

電話を転送することを伝えて（約10秒以内に）
子機を充電器に戻す

- 充電器に戻さないときは切ボタンを押します。
- 他の方の子機からの声はこちら側には聞こえません。
- この操作をしなくても約10秒後には自動的に転送されます。

5 他の子機

保留メロディが聞こえたら、

を押す

または 内線/クリア 保留 **を押す**

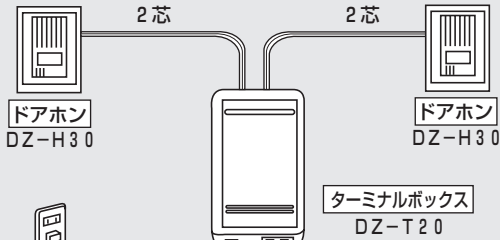
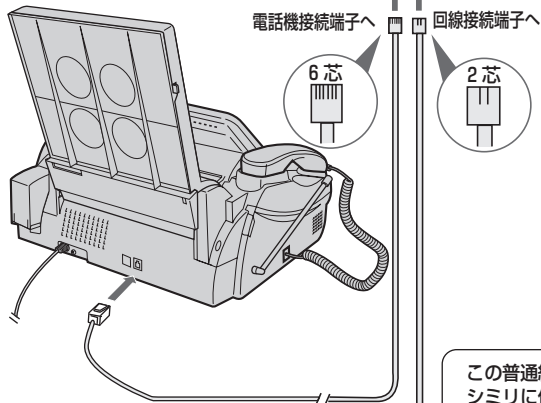
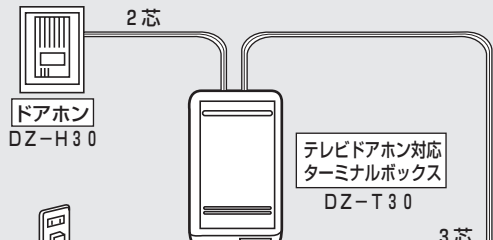
- 外の相手の方と通話できます。

■ 他の子機が出ないときは

保留ボタンを押すと、呼び出しをやめて保留になります。このあと保留ボタンまたは通話ボタンを押すと外の相手の方との通話に戻ります。

ドアホンを接続する

別売りのターミナルボックス（専用）やドアホン（テレビドアホンユニット）を取り付けると、ドアホン通話することができます。
詳しい接続方法は、それぞれの機器の取扱説明書をご覧ください。

お知らせ

- テレビドアホンユニットは、DZ-MH70、DZ-MH50、DZ-MH30が接続できます。
- テレビドアホンユニットを取り付けるときは、必ずテレビドアホン対応ターミナルボックス（DZ-T30）をお使いください。
- 現在お使いのドアホンが次の機種のときは、専用ドアホン（DZ-H30）をお求めにならなくても、そのままお使いいただけます。（ターミナルボックスDZ-T20またはDZ-T30は必要です。）

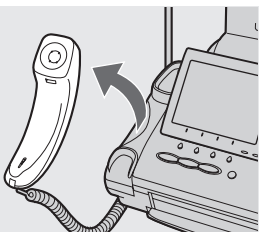
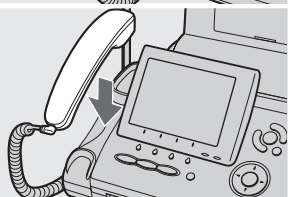
メーカー名（50音順）	適合するドアホン（室外機の機種名） 2001年10月現在
アイホン	IF-DA IE-DA IE-DC IE-NC IE-RA IE-TAS IE-JA IE-CA IF-DAW IE-NXS IE-NXBA IE-NXM IE-NXY IE-NXC
岩通	ドアホンN
NTT	E-104DH E-ドアホンS E-ドアホンD E-ドアホンPL E-VXドアホン
パイオニア	TF-DR2
富士通	FC-201A FC-201B FC-201C FC-201D
松　下 通信工業	VF-521 VF-522 VF-523U VF-523D VL-568 VL-568G VL-568U VL-568K VL-568KA VL-568D VL-568R VL-568S VL-568KAP VL-568GL VL-568UL VL-569 VL-580D VL-582A VL-584D VL-585D VL-586P VL-587P VL-592 VL-593 VL-594A
松下電工	EJ-502 EJ-501W EJ-102 EJ-503F EJ-503A EJ-106A EJ-106S EJ-1021B

※チャイム（室外と室内とで会話できないもの）は適合しません。

ドアホンと話す（ドアホン通話）

親機、子機のどちらでも、ドアホンを押された方とお話しすることができます。

親機で話すときは

1 呼出音が「ピンポン」と鳴ったらディスプレイに「ドアホン着信１」または、「ドアホン着信２」と表示している間（30秒以内）に**受話器を取って通話する**

2 通話が終わったら**受話器を戻す**

子機で話すときは

1 呼出音が「ピロピロピロピロ」と鳴ったら通話ボタンが点滅している間（30秒以内）に

（通話）**を押す**

●通話ボタンが点灯します。

2 通話が終わったら

（切）**を押す**

■ **ドアホンの呼出音について**

ドアホン１とドアホン２からの呼出音は鳴り方が違います。

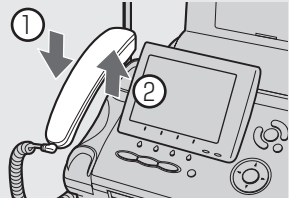
親機	ドアホン１	ピン ポン
	ドアホン２	ピン ポン ピン ポン
子機	ドアホン１	ピロ ピロ ピロ ピロ　ピロ ピロ ピロ ピロ
	ドアホン２	ピロ ピロ　ピロ ピロ　ピロ ピロ

お知らせ

- 親機のスピーカーホンボタンを押してもドアホン通話することはできません。
- 親機または子機からドアホンを呼び出すことはできません。
- ドアホン通話の保留はできません。
- 留守録に設定していても、ドアホンからの録音はできません。
- ファクス送受信中や増設電話機で通話中のときは、ドアホンからの呼び出しがあっても子機の呼出音は鳴りません。この場合、子機で通話することもできません。また、親機の呼出音は鳴りますが、受話器を取っても通話はできません。
- ドアホンの呼出音が「ピンポン」と鳴ったあと約30秒以上ドアホンとの通話に出なかったときは、ドアホンと通話できません。
- 増設電話機が接続されていてもドアホンとの通話はできません。（呼出音も鳴りません。）
- ドアホン通話を親機や子機へ転送することはできません。

親機でドアホン通話中に電話がかかってくると

ドアホン通話をやめて電話に出ることができます。

1 電話の呼出音が聞こえたら **一度、受話器を戻してから、受話器を取る**

●受話器を戻すと、ドアホン通話が切れます。
●受話器を取ると、かかってきた電話との通話になります。

親機で通話中にドアホンから呼び出しがあると

電話を保留にしてドアホンとの通話ができます。

1 ドアホンの呼出音が聞こえたら30秒以内に 内線/保留 **を押す**

●通話中の相手の方には保留メロディーが流れ、ドアホンの相手とドアホン通話ができます。

2 電話の相手の方との通話に戻るときは 内線/保留 **を押す**

●電話の相手の方との通話に戻ると、ドアホン通話は切れます。

親機でドアホン通話中にもう1台のドアホンから呼び出しがあると

ドアホン通話中の通話をやめて、もう1台のドアホンとの通話ができます。

1 ドアホンの呼出音が「ピンポン」と1回聞こえたときは

1 **を押す**

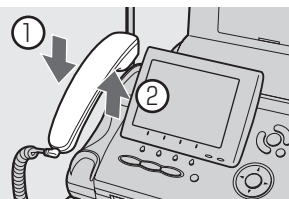
ドアホンの呼出音が「ピンポン、ピンポン」と続けて2回聞こえたときは

2 **を押す**

● **1 または 2（またはキャッチボタン）を押すごとに、2台のドアホンの方と交互にお話しができます。**

親機で子機と内線通話中にドアホンから呼び出しがあると

内線通話をやめてドアホンとの通話ができます。

1 ドアホンの呼出音が聞こえたら30秒以内に **一度、受話器を戻してから、受話器を取る**

●受話器を戻すと、内線通話が切れます。
●受話器を取ると、ドアホン通話になります。

子機でドアホン通話中に電話がかかってくると

ドアホン通話をやめて電話に出ることができます。

1 電話の呼出音が聞こえたら

を押して、 を押す

●切ボタンを押すと、ドアホン通話が切れます。
●通話ボタンを押すと、かかってきた電話との通話になります。

子機で通話中にドアホンから呼び出しがあると

電話を保留にしてドアホンとの通話ができます。

1 ドアホンの呼出音が聞こえたら30秒以内に

内線/クリア 保留 **を押す**

●通話中の相手の方には保留メロディーが流れ、ドアホンの相手の方とドアホン通話ができます。

2 電話の相手の方との通話に戻るときは

内線/クリア 保留 **を 2 回押す**

●電話の相手の方との通話に戻ると、ドアホン通話は切れます。

子機でドアホン通話中にもう 1 台のドアホンから呼び出しがあると

ドアホン通話中の通話をやめて、もう 1 台のドアホンとの通話ができます。

1 ドアホンの呼出音が「ピンポン」と 1 回聞こえたときは

1 **を押す**

ドアホンの呼出音が「ピンポン、ピンポン」と続けて 2 回聞こえたときは

2 **を押す**

● **1 または 2 （またはキャッチボタン）を押すごとに、2 台のドアホンの方と交互にお話しができます。**

子機で親機と内線通話中にドアホンから呼び出しがあると

内線通話をやめてドアホンとの通話ができます。

1 ドアホンの呼出音が聞こえたら30秒以内に

を押して、 を押す

●切ボタンを押すと、内線通話が切れます。
●通話ボタンを押すと、ドアホン通話になります。